

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）

総合研究報告書

小児・AYA世代がん患者のサバイバーシップ向上を志向した妊孕性温存に関する  
心理支援体制の均てん化に向けた臨床研究

研究代表者 鈴木 直 聖マリアンナ医科大学産婦人科学 教授

研究要旨

がん・生殖医療とは、小児、思春期・AYA世代がん患者に対する生殖機能温存を目指した医療がその定義となる。がん・生殖医療においては、対象患者が一般の不妊治療患者では無くがん患者である事から、何よりもがん治療を優先すべきであり、時には将来の妊娠・分娩をあきらめざるを得ない場合も少なくない。がん・生殖医療では、いかに患者あるいはその家族の自己決定を促すことができるか重要となり、少なくともがん治療医から将来の妊孕性喪失の可能性に関する情報提供が必須となる。その上で、将来子どもをもたない選択をした患者に対して、さらに子どもがもてなかった患者に対しても、医療従事者が心理社会的サポートを提供できる医療チームの構築が必要である。目の前の「がん」に対する恐怖を感じている小児・AYA世代がん患者は、将来の生殖機能や妊孕性の喪失に対する不安と苦悩が強いことから、「がんでも将来自分の子どもをもつという未来がある」という「希望」が、我が国の少子化問題の一助に繋がる可能性がある。我々は、平成 26-28 年度厚生労働科学研究（鈴木班）にて以下の成果を得ている。日本生殖心理学会と日本がん・生殖医療学会との協力体制のもと「がん・生殖医療専門心理士」を養成し、がん患者に対して質の高いがん・生殖医療に関わる心理カウンセリングが提供できる土壌を築いた。若年乳がん女性患者とその配偶者を対象とした妊孕性温存に関する心理教育とカップル充実セラピーを開発し、多施設合同ランダム化比較 O!PEACE 試験を実施し、その結果心理士による介入効果が明らかになった。妊孕性温存に関する小児・AYA世代がん患者の心理支援に関する研究報告は皆無であることから、世界初の取り組みでもある本研究成果によってがん・生殖医療の新たな展開に繋がった。そこで、我々は平成 26-28 年度厚生労働科学研究（鈴木班）の成果を浸透させサバイバーシップ向上に資するさらなるエビデンス構築を目指して以下の3つの研究計画を立案した；【研究 1】若年成人未婚男性がん患者における精子凍結後の心理教育プログラムの開発、【研究 2】若年未婚乳がん患者における妊孕性温存の心理教育プログラムの開発、【研究 3】小児・思春期のがん患者とその親に対する妊孕性温存の情報提供とインフォームドアセントのあり方に関する調査研究。これらは、前 3 年間の研究で得られたリソースを最大限有効活用することで、若年女性のみならず、男性や小児世代のがん患者にまで対象を広げた研究となっている。本研究成果は、厚生労働行政が目指す総合的 AYA 世代の妊孕性温存医療を全国に均てん化させることができると確信している。

## A．研究の背景と目的

小児・AYA 世代のがん患者は、妊孕性喪失に対する多岐・長期に渡る不安と苦悩が強い (Gorman, 2010)。不確実性の中で不安と恐怖を有するがん患者は、将来の妊孕性や生殖機能温存に関してまで短期間に自己決定しなければならない大変困難な精神状態にある。がん治療の進歩に伴う現在、診断時から妊孕性に関する医療情報を適格に提供し同時に精神的サポートも行う心理支援体制の構築が、がんサバイバーシップ向上の為に喫緊の課題となっている。これまで、がん治療開始前の妊孕性温存に関する情報提供が、患者の QOL 向上に有効的であり (Letourneau, 2012)、妊孕性温存のカウンセリングがない場合と費用面で困難がある場合に妊孕性温存の意思決定に際して患者が強い葛藤を感じたことがわかっている (Mersereau, 2013)。他方、妊孕性温存の知識が浅い担当者、心理専門職でない担当者、時間が不十分、質問する機会がないという医療カウンセリングによって妊孕性温存の自己決定に後悔が多くなるという報告があり (Bastings, 2014)。がん・生殖医療が展開しつつある我が国においても、カウンセリングの質や担当者の精度を向上させる試みが急務である。平成 26-28 年度厚労科研・鈴木班では、「がん・生殖医療専門心理士」を養成することで質の高いがん・生殖医療に関わる心理カウンセリングが提供できる土壌を築き、さらに若年乳がん女性患者とその配偶者を対象とした妊孕性温存に関する心理教育とカップル充実セラピーを開発し、多施設合同ランダム化比較試験を実施し中間分析で精神症状の改善効果を得ることに成功した。この試験は、世界初の若年がん患者に対する妊孕性温存の心理支援の効果評価に関する独創的な研究であった。以上の成果を踏まえて、更な

るエビデンス構築を志向した臨床研究または調査研究を行うことが本研究の目的となる。

【研究】若年成人未婚男性がん患者における精子凍結後の心理教育プログラムの開発の目的：精子凍結保存は非侵襲的な妊孕性温存療法であり、短時間で施行することが可能であるため、古くからがん治療開始前に一部の男性がん患者に対する精子凍結が施行されてきた。しかしながら、男性がん患者の未婚率は 69%と高く凍結精子の利用は 10%前後となっている。若年成人男性は自己開示しない、落ち込み体験で自己効力感が低下し抑うつに至る傾向があると考えられおり、これらが凍結精子の利用率の低さに表れている可能性が示唆される。そこで、妊孕性温存のニーズが高いが保存した凍結検体を使う時期が未定でかつ不安が強い未婚男性の小児・AYA 世代に対する心理教育プログラムの開発を目的とした。

【研究】若年未婚乳がん患者における妊孕性温存の心理教育プログラムの開発の目的：若年成人未婚女性は、将来の結婚、妊娠・出産について不確定要素が大きいため、抑うつ・不安が強く適切な対処行動が難しく意思決定困難になりやすいと考えられている。そこで、研究と同様に、妊孕性温存のニーズが高いが保存した凍結検体を使う時期が未定でかつ不安が強い未婚女性の小児・AYA 世代に対する心理教育プログラムの開発を目的とした。

【研究】小児・思春期のがん患者とその親に対する妊孕性温存の情報提供とインフォームドアセントのあり方に関する調査研究の目的：世界的に小児・思春期世代のがん患者は妊孕性温存の情報を切望し、妊孕性温存療法施行に際しては自ら意思決定する場合が少なくない。一方、我が国は保護者の同意を重視し、小児に十分な情報説明と

インフォームドアセントがない場合があると報告されている。そこで、小児・思春期世代がん患者と保護者に対する妊孕性温存の情報提供とインフォームドアセントのあり方に関する調査研究行い問題点を明らかにすることを目的とした。

## B．研究内容と結果

【研究】若年成人未婚男性がん患者における精子凍結後の心理教育プログラムの開発：  
-1「若年成人未婚男性がん患者における精子凍結後の心理社会的状況に関する観察研究」：若年成人男性がん患者（曝露群）の心理社会的状況は、1）健康な同年代の男性（非曝露群）と異なるか、2）曝露群のうち妊孕性温存目的で精子凍結をした人（凍結群）と精子凍結をしなかったがん患者（非凍結群）と異なるか、の2点を明らかにすることを目的とした観察研究をおこなった。その結果、曝露群は非曝露群に比べて不安・うつ症状、PTSD症状が有意に少なく、妊孕性に対する自己効力感、男性としての自己効力感の喪失が有意に低かった。曝露群は非曝露群に比べて不安・うつ症状やPTSD症状、男性としての自己効力感の喪失が少なく精神的に健康であったが、妊孕性に対する自己効力感は有意に低かった。

-2「若年成人男性がん患者における精子凍結後の心理教育プログラム動画制作」：がん治療に際して精子凍結保存をした若年がん患者の男性向けの凍結精子の医療情報とコミュニケーションに関する心理教育動画を制作した。

【研究】若年未婚乳がん患者における妊孕性温存の心理教育プログラムの開発：  
「心理エンパワメントカウンセリングチームによる立ち直りと意思決定：RESPECT（Recovery and Shared-decision-making

by Psychological Empowerment Counseling Team）試験を開始した。2019年度はRESPECT心理カウンセリングを用いた介入研究RESPECT試験を多施設合同ランダム化比較試験で実施した。10施設が倫理委員会の承認を得、8施設で試験を開始し、32症例が登録された。有害事象の発生はなかった。

【研究】小児・思春期のがん患者とその親に対する妊孕性温存に関する調査研究：

-1「小児・思春期世代がん患者に対する妊孕性温存に関する動画制作」：本領域が2007年以降先進的に展開されている欧米の施設を視察結果、本邦における本領域に対するインフォームドアセントやインフォームドコンセントの実施マニュアルを作成するには時期尚早で有り、本邦における小児・思春期世代がん患者とその親に対する妊孕性温存の情報提供とインフォームドアセントのあり方に関する調査研究の成果を得た後に、実施マニュアルを作成すべきであると判断した。また海外視察の際、小児・思春期のがん患者向けの動画を視察病院でそれぞれ作成し利用している現状を把握した結果、本邦においても同様の資材作成の必要性を痛感（日常臨床の経験も通じて）したことから、小児・思春期世代女性がん患者向けの卵巣組織凍結に関するインフォームドアセントの動画と、思春期・若年世代男性また女性がん患者に対する妊孕性温存療法に関するインフォームドアセントまたインフォームドコンセントの動画、計2本を制作した。

-2「本邦における小児・思春期世代がん患者とその親に対する妊孕性温存の情報提供とインフォームドアセントのあり方に関する調査研究」：日本小児血液・がん学会の理事会にて承諾（日本小児血液・がん学会：細井創理事長に上申し、理事会にて承

認を得た)を得て、日本小児血液・がん学会会員に対して実態調査「医師-患者コミュニケーション：小児・思春期患者に対するがん告知、がん治療による性腺機能不全のリスク、将来不妊症になる可能性を伝える際の実態調査」を行った。5年以上がん治療に携わった259人の参加者(82.2%)の回答を解析した。思春期前の患者(7-9歳)に対して、患者にがんの診断を直接伝える医師は75%、性腺機能不全/将来の不妊のリスクを伝える医師は10%であった。小児患者に対して将来の妊孕性に関する話をする際に影響を受ける因子は、子どもの年齢、性別、親の要望、医師の情報不足などであった。思春期発来期(10-14歳)に対して、患者にがんの診断を直接伝える医師が99%、性腺機能不全/将来の不妊のリスクを直接小児患者に伝える医師は40%であった。思春期の患者(15-17歳)に対して、患者にがんの診断を直接伝える医師が99%、性腺機能不全/将来の不妊のリスクを直接小児患者に伝える医師は75%であった。生殖医療の専門家が不足しているため、自施設内に患者を紹介していない患者は41.2%であった。また、回答者の90%以上が、将来の妊孕性に関するディスカッションのための教育資料があった方が良いと感じていることがわかった。つまり、医師は、思春期前の子どもと将来の不妊症などの問題について直接情報提供をする際に困難さを感じているということが明らかとなった。

### C. 考察と課題

【研究】若年成人未婚男性がん患者における精子凍結後の心理教育プログラムの開発：-1「若年成人未婚男性がん患者における精子凍結後の心理社会的状況に関する観察研究」：ストレス外傷後成長(PTSD)との概念は、がんに限らず生死の危機を伴う

ようなつらい体験をして生き延びてきたことで、視野が広がった、辛抱強くなれた、他者の気持ちをより深く理解できるようになったなどを得ることが報告されている。今回の調査ではPTSDに関する設問は無かったが、こうした観点を今後の研究に加えていくことが有益かもしれない。また、若年成人男性がん患者のうち、精子凍結をした群と凍結しなかった群の差は認められなかったことから、年齢などでマッチングさせた分析や調整変数を加えた分析などさらに統計解析をおこなう必要が課題としてあげられた。がん種やがんの状態によって精子凍結が可能な場合とそうでない場合があり得ると推察している。先行研究では、精子凍結したことがその後の人生の希望になったと報告されている。また、精子凍結ができたことでがん治療に立ち向かう勇気が湧いたという報告がある。他方、医師が患者に精子凍結を紹介し話し合ったときのコミュニケーションが良くないと妊孕性温存に対する葛藤が大きくなり、意思決定やのちに意思決定を後悔することにつながるという報告もある。これらの研究結果をもとに、調整変数を加えた解析を行い、精子凍結者と非凍結者の違いを詳細に検討することも有効であろうと考えた。

-2「若年成人男性がん患者における精子凍結後の心理教育プログラム動画制作」：飽きないで最後まで視聴してもらうための工夫として、ナビゲーターによる語りかけ、パワーポイントスライドによる情報提供、医師・心理士のインタビュー、ナレーターと静止画による架空場面、心理描写といったパターンをそれぞれ撮影、制作し、組み合わせた。プログラムの内容でポイントとなる部分は、医師・心理士のインタビュー、パワーポイントやテロップによる情報の文字化と整理、ナビゲーターによる語りかけ

を組み合わせ、情報が正確に伝わり、印象に残るように工夫した。以上より、「がん治療時に精子凍結されたみなさまへ」とう動画（2部構成：計32分）を制作した。研究期間内に、本動画を用いた評価研究を施行することができなかった。そこで、精子凍結に関する情報提供をまとめて通常資材を制作し、動画資材と比較検討するランダム化比較試験を今後行う（現在、聖マリアンナ医科大学にて倫理審査中）。同意取得時の年齢が成人年齢である男性100人を対象に、動画資材、通常資材のいずれかを視聴をランダムに割付ける。視聴の前後にアンケートはすべてwebを用いて実施し、調査参加から約1年後の精子凍結更新時期に担当医が医療情報を収集する。

【研究】：若年未婚乳がん患者における妊孕性温存の心理教育プログラムの開発：RESPECT試験は2019年度末までに10施設が倫理委員会の承認を得て、2019年度は8施設で試験を実施し32症例が参加登録した。有害事象の発生はなく安全に実施できた。ピックアップしたものの該当基準を満たさなかった症例がピックアップ人数の37.6%を占めた。その理由として、該当基準の“参加時点で遠隔転移を認めない、初期初発の乳がんである”、“同意取得日を0日目と数えて、がん治療開始まで4日以上ある”という基準に合致するかどうか、初診時にすぐに判断することが難しいからであると考察した。なお、初診後に精査してから該当基準に合致するか判断するとなると、がん治療開始までに本試験に参加しカウンセリングを受ける時間を十分にとることが難しくなる可能性が考えられる。また、診療予約や紹介状など事前情報では患者の婚姻状況など詳細がわからないことが多いかと推測している。さらに、婚姻状況といっ

たプライバシーにかかわる情報収集では対面で信頼関係が構築されたのちに該当基準に合致するか確認することになるのではないかと考察する。他方、リクルートが実施できた人数に占める参加者の割合は65.3%であった。患者にとってこの試験は良い方向に受け止められやすく、負担が少なく参加しやすいと感じられたのではないかと考えている。その背景には患者は乳がんの診断を受けてショックと不安を抱え、医療情報が難しいなどの状況に置かれて心理支援を求めている場合が多いことを反映していると推測される。また、リクルートで担当医が適切なタイミングを見計らって患者に試験を紹介し、その後の説明でも心理士などが丁寧に対応することによって患者の3人に2人は参加する可能性が示唆された。一方、リクルートしたが不参加を表明した10人のうち、心理カウンセリングは自分に不要だからと不参加の理由づけした者は9人であり、不参加理由の殆どを占めた。がん診断後のショックから精神的に立ち直ったと可能性が考えられるが、一方がん診断のショックを受け止めきれず、がん治療や生活に対処するのに精一杯で心理カウンセリングを受ける余裕がない、自分を見つめ直している場合でない、ということもあるかもしれないと考察できた。世界でも類を見ない、RCTであることから、また対象患者が少ないため、研究期間内に研究を終了させることができなかったが、2020年度以降もRESPECT試験を継続し、引き続き、がん患者の妊孕性温存に関する心理支援の効果について検証を進める。

【研究】：小児・思春期のがん患者とその親に対する妊孕性温存に関する調査研究：  
-1「小児・思春期世代がん患者に対する妊孕性温存に関する動画制作」：2015年11

月から2018年8月までの間に当院にて卵巣組織凍結保存を施行した小児・思春期世代がん患者 17 名を対象にした一般診療内容を比較検討した結果、2018年4月以前に「インフォームドアセントを口頭でのみ行なった群:7名(平均年齢 12.9 歳±1.7SD)」と、2018年4月以降に「若手女性医師を含む3-4名で構成されたがん・生殖医療チームで卵巣組織凍結保存の説明の動画や説明用紙にキャラクターを描いて説明した群:10名(平均年齢 11.9 歳±3.4SD)」で、後半の群において、8歳や9歳の患者でも良好な理解を得ることができた。以上より、卵巣組織凍結保存の説明の動画やキャラクターを描いて説明することで、小児・思春期世代のがん患者においても、より良い理解を得ることができる可能性が考えられた。しかしながら、理解度のレベルは年齢によって異なるため、年齢毎に適した複数のパターンの説明動画が必要であり、理解レベルを客観的に評価する指標が必要であると考えられた。そこで、幼少期編としては、インフォームドアセント取得を目指した卵巣組織凍結に関する動画を作成した。また、思春期編としては、インフォームドアセントから Consent 取得を目指した、小児・AYA 世代がん患者を対象とした妊孕性温存療法(精子凍結、卵子凍結、受精卵凍結、卵巣組織凍結)に関する動画を制作した。欧米の専門施設の視察によって、本邦ではかなり遅れている領域であり、日本小児血液・がん学会で2017年に取り上げられたばかりの小児・思春期世代がん患者に対するがん・生殖医療の課題が多数明らかにされた。そこで、-2の調査研究を専攻させて研究を進めた結果、研究期間内にこれらの動画を小児・血液がんを専門とする医師による評価研究を施行することができなかつた。しかしながら、2020年度には、『妊孕

性温存療法の説明動画に関する意見調査』を継続して進めていく。妊孕性温存の理解を深める内容を含む本研究で作成した2つの動画を全国の小児がん拠点病院に啓発し、小児・思春期世代がん患者に対する妊孕性温存に関する意思決定支援の充実が期待される。

-2「本邦における小児・思春期世代がん患者とその親に対する妊孕性温存の情報提供とインフォームドアセントのあり方に関する調査研究」:米国小児学会では、医師が7~14歳の子どもに対してアセントを得ること、また15歳以上にはインフォームド Consent を得ることを勧めていることから、米国では小児患者本人に対してもがん告知を行うべきであるとの考えが浸透している。また米国臨床腫瘍学会のガイドラインにおいても、がんと診断された後、治療による性線機能不全や妊孕性喪失のリスクの説明と妊孕性温存療法に関する情報提供を行うべきであると推奨されているため、小児・思春期がん患者への情報提供体制の構築も発展していることが予想される。本実態調査を通して、日米間の比較を行うことで、本邦における情報提供体制の課題を見出し、改善することが可能であると考えられる。

#### D. 政策提言

今後解決すべき課題を提言として記す。

【研究】若年成人未婚男性がん患者における精子凍結後の心理教育プログラムの開発：

(1) 妊孕性温存に関する相談支援体制の構築(未婚男性がん):若年成人未婚男性がん患者は、がん経験によって妊孕性に対する不安や機能不全感がある可能性が示唆されることから、患者が精子凍結の意思決定の際や凍結更新時に自身の困り事を相談できるような相談窓口を整え、若年成人未

婚男性がん患者に対する妊孕性温存に関する相談支援体制の構築が急務である。

**(2) がん・生殖医療に関する未婚男性がん患者教育：**がん治療開始前に精子凍結を選択した若年成人未婚男性がん患者に対して、または医療従事者に対して、凍結精子の医療情報とコミュニケーションに関する心理教育動画を普及させることによって、精子凍結の意味を改めて考える機会が与えられ、妊孕性温存に対する理解が深まり、患者とパートナーとのコミュニケーションの改善が期待される。

**(3) がん・生殖医療のフォローアップ体制の構築(未婚男性がん)：**若年成人未婚男性がん患者のサバイバーシップ向上を志向した、妊孕性温存に関する心理支援体制の均てん化を促進するためには、治療前から長期にわたる若年成人未婚男性がん患者に対するがん・生殖医療のフォローアップ体制の構築が急務である。

【研究】：若年未婚乳がん患者における妊孕性温存の心理教育プログラムの開発：

**(1) 心理支援体制の構築(未婚女性がん)：**がん治療開始前の過剰な精神的負担と不安を抱える小児・AYA世代がん患者に対して、サバイバーシップ向上を志向した公認心理師(がん・生殖医療専門)による、心理支援体制(妊孕性温存に関する心理支援や情報提供のみならず、目の前のがんと闘う際の心理支援)の構築が急務である。

**(2) 短期心理療法の開発(未婚女性がん)：**がん患者の精神的ストレスの深刻化を改善させるための、効果的な短期心理療法の開発が急務である。

**(3) 心理支援体制の均てん化(未婚女性がん)：**本研究で開発した効果的な短期心理療法を実施可能な公認心理師(がん・生殖医療専門)の全国配置を実施することにより、心

理士の雇用と業務の一層の拡充化が進み、その結果として小児・AYA世代がん患者のサバイバーシップ向上を志向した妊孕性温存に関する心理支援体制の均てん化を促進することができる。

【研究】小児・思春期のがん患者とその親に対する妊孕性温存に関する調査研究：

**(1) 人材育成(小児・思春期がん)：**ファーストコンタクトならびにその後も小児・思春期世代がん患者と家族に寄り添って、がん・生殖医療の意思決定を支援する人材育成(Patient Navigator、Nurse Practitioner、心理士など)が急務である。

**(2) 妊孕性温存に関するインフォームドアセント/インフォームドコンセントの確立(小児・思春期がん)：**がん・生殖医療の意思決定を支援するための、本邦独自のインフォームドアセント/インフォームドコンセントの資材の作成と、その啓発活動が急務である。

**(3) 小児・思春期世代がん患者を対象としたがん・生殖医療の啓発：**小児血液・がんを専門とする医師に対するさらなるがん・生殖医療の啓発と、生殖医療を専門とする医師との密ながん・生殖医療連携体制の構築が急務である。

E．健康危険情報

総括研究報告書にまとめて記入

F．研究発表

1．論文発表

1) Miyoshi Y, Yorifuji T, Horikawa R, Takahashi I, Nagasaki K, Ishiguro H, Fujiwara I, Ito J, Oba M, Fujisaki H, Kato M, Shimizu C, Kato T, Matsumoto K, Sago H, Takimoto T, Okada H, Suzuki N, Yokoya S,

- Ogata T, Ozono K. Childbirth and fertility preservation in childhood and adolescent cancer patients: a second national survey of Japanese pediatric endocrinologists. *Clin Pediatr Endocrinol.* 2017; 26: 81-88.
- 2) Haino T, Tarumi W, Kawamura K, Harada T, Sugimoto K, Okamoto A, Ikegami M, Suzuki N. Determination of Follicular Localization in Human Ovarian Cortex for Vitrification. *Journal of Adolescent and Young Adult Oncology.* 2018; 7(1): 46-53.
  - 3) Kawahara T, Okamoto N, Takae S, Kashiwagi M, Nakajima M, Uekawa A, Ito J, Kashiwazaki N, Sugishita Y, Suzuki N. Aromatase inhibitor use during ovarian stimulation suppresses growth of uterine endometrial cancer in xenograft mouse model. *Human Reproduction.* 2018; 33(2): 303-310.
  - 4) Yumura Y, Tsujimura A, Okada H, Ota K, Kitazawa M, Suzuki T, Kakinuma T, Takae S, Suzuki N, Iwamoto T. Current status of sperm banking for young cancer patients in Japanese nationwide survey. *Asian Journal of Andrology.* 2018; Epub ahead of print: .
  - 5) 網野一馬, 六波羅孝, 三浦篤史, 米村雅人, 鈴木直. がん・生殖医療における薬剤師の関わり. *日本がん・生殖医療学会誌.* 2018; 1(1): 57-60.
  - 6) Okamoto N, Nakajima M, Sugishita Y, Suzuki N. Effect of mouse ovarian tissue cryopreservation by vitrification with Rapid-i closed system. *J Assist Reprod Genet.* 2018; 35(4): 607-613.
  - 7) Takae S, Tsukada K, Maeda I, Okamoto N, Sato Y, Kondo H, Shinya K, Motani Y, Suzuki N. Preliminary human application of optical coherence tomography for quantification and localization of primordial follicles aimed at effective ovarian tissue transplantation. *J Assist Reprod Genet.* 2018; 35(4): 627-636.
  - 8) 鈴木直. 生殖医療の進歩とがん治療への応用, *京都府立医科大学雑誌,* 2017; 126(8): 525-529.
  - 9) 中村健太郎, 高江正道, 鈴木直. AY世代がん患者のがん薬物治療と妊孕性への影響, *調剤と情報,* 2017; 23(13): 12-21.
  - 10) 洞下由記, 鈴木直. 悪性腫瘍診療における卵子・胚凍結の意義, *医学のあゆみ,* 2017; 263(6): 547-550.
  - 11) 佐藤匠, 杉下陽堂, 鈴木直. がん患者への妊孕性温存対策 わが国の現状, *産婦人科の実際,* 2017; 66(13): 1827-1832.
  - 12) Suzuki N. Ovarian tissue cryopreservation and transplantation using thawed ovarian cortex for fertility preservation., *Onco Fertil J,* 2018; 1(1): 3-8.
  - 13) Suzuki N. Clinical Practice Guidelines for Fertility Preservation in Pediatric, Adolescent, and Young Adults with Cancer, *International Journal of Clinical Oncology,* 2018; Epub ahead of print:.
  - 14) 吉岡範人, 鈴木直. 婦人科がん患者



- に対する妊孕性温存療法の現状-がん・生殖医療の展望 , 日本臨牀, 2018; 76: 140-149.
- 15) Koizumi T, Nara K, Hashimoto T, Takamizawa S, Sugimoto K, Suzuki N, Morimoto Y. Influence of Negative Emotional Expressions on the Outcomes of Shared Decision-making During Oncofertility Consultations in Japan. *Journal of Adolescent and Young Adult Oncology* (In printing)
  - 16) 小泉智恵 2017 AYA世代がん患者への精神的・社会的ケア 調剤と情報, 23:13,2-4.
  - 17) 小泉智恵 2017 短期間のうちに多くの意思決定を迫られる患者にどう関わる? - 臨床心理士の立場から 大須賀穰・鈴木直(編)『がん・生殖医療ハンドブック』 p.298-302 メディカ出版.
  - 18) Okamoto N, Nakajima M, Sugishita Y, Suzuki N. Effect of mouse ovarian tissue cryopreservation by vitrification with Rapid-i closed system. *Journal of Assisted Reproduction and Genetics*. 2018; 35(4): 607-613.
  - 19) Takae S, Tsukada K, Maeda I, Okamoto N, Sato Y, Haruhiro Kondo, Shinya K, Motani Y, Suzuki N. Preliminary human application of optical coherence tomography for quantification and localization of primordial follicles aimed at effective ovarian tissue transplantation. *J Assist Reprod Genet*. 2018; 35(4): 627-636.
  - 20) Takeuchi E, Kato M, Miyata K, Suzuki N, Shimizu C, Okada H, Matsunaga N, Shimizu M, Moroi N, Fujisawa D, Mimura M, Miyoshi Y. The effects of an educational program for non-physician health care providers regarding fertility preservation. *Supportive Care in Cancer*. 2018; 26(10): 3447-3452.
  - 21) Yumura Y, Tsujimura A, Okada H, Ota K, Kitazawa M, Suzuki T, Kakinuma T, Takae S, Suzuki N, Iwamoto T. Current status of sperm banking for young cancer patients in Japanese nationwide survey. *Asian Journal of Andrology*. 2018; 20(4): 336-341.
  - 22) Shiraishi E, Sugimoto K, Shapiro JS, Ito Y, Kamoshita K, Kusuhaara A, Haino T, Koizumi T, Okamoto A, Suzuki N. Study of the Awareness of Adoption as a Family-Building Option Among Oncofertility Stakeholders in Japan. *Journal of Global Oncology*. 2018; 4: 1-7.
  - 23) Koizumi T, Nara K, Hashimoto T, Takamizawa S, Sugimoto K, Suzuki N, Morimoto Y. Influence of Negative Emotional Expressions on the Outcomes of Shared Decision Making During Oncofertility Consultations in Japan. *Journal of Adolescent and Young Adult Oncology*. 2018; 7(4): 504-508.
  - 24) Yumura Y, Tsujimura A, Okada H, Ota K, Kitazawa M, Suzuki T, Kakinuma T, Watanabe C, Takae S, Suzuki N, Iwamoto T. Recognition and attitudes of Japanese hematologists on sperm banking before chemoth

- erapy: present status from nationwide questionnaire survey. *International Journal of Clinical Oncology*. 2018; Epub ahead of print: .
- 25) Rashedi AS, de Roo SF, Ataman LM, Edmonds ME, Silva AA, Scarella A, Horbaczewska A, Anazodo A, Arvas A, Ramalho de Carvalho B, Sartorio C, Beerendonk CCM, Diaz-Garcia C, Suh CS, Melo C, Yding Andersen C, Motta E, Greenblatt EM, Van Moer E, Zand E, Reis FM, Sánchez F, Terrado G, Rodrigues JK, de Meneses E Silva JM, Smitz J, Medrano J, Lee JR, Winkler-Crepaz K, Smith K, Ferreira Melo E Silva LH, Wildt L, Salama M, Del Mar Andrés M, Bourlon MT, Vega M, Chehin MB, De Vos M, Khrouf M, Suzuki N, Azmy O, Fontoura P, Campos-Junior PHA, Mallmann P, Azambuja R, Marinho RM, Anderson RA, Jach R, Antunes RA, Mitchell R, Fathi R, Adiga SK, Takae S, Kim SH, Romero S, Grieco SC, Shaulov T, Furui T, Almeida-Santos T, Nelen W, Jayasinghe Y, Sugishita Y, Woodruff TK. Survey of Fertility Preservation Options Available to Patients With Cancer Around the Globe. *Journal of Global Oncology*. 2018; 4: 1-7.
- 26) Rashedi AS, de Roo SF, Ataman LM, Edmonds ME, Silva AA, Scarella A, Horbaczewska A, Anazodo A, Arvas A, Ramalho de Carvalho B, Sartorio C, Beerendonk CCM, Diaz-Garcia C, Suh CS, Melo C, Andersen CY, Motta E, Greenblatt EM, Van Moer E, Zand E, Reis FM, Sánchez F, Terrado G, Rodrigues JK, Marcos de Meneses E Silva J, Smitz J, Medrano J, Lee JR, Winkler-Crepaz K, Smith K, Ferreira Melo E Silva LH, Wildt L, Salama M, Del Mar Andrés M, Bourlon MT, Vega M, Chehin MB, De Vos M, Khrouf M, Suzuki N, Azmy O, Fontoura P, Campos-Junior PHA, Mallmann P, Azambuja R, Marinho RM, Anderson RA, Jach R, Antunes RA, Mitchell R, Fathi R, Adiga SK, Takae S, Kim SH, Romero S, Grieco SC, Shaulov T, Furui T, Almeida-Santos T, Nelen W, Jayasinghe Y, Sugishita Y, Woodruff TK. Survey of Third-Party Parenting Options Associated With Fertility Preservation Available to Patients With Cancer Around the Globe. *Journal of Global Oncology*. 2018; 4: 1-7.
- 27) Sugishita Y, Okamoto N, Uekawa A, Yamochi T, Nakajima M, Namba C, Igarashi S, Sato T, Ohta S, Takenoshita M, Hashimoto S, Tozawa A, Morimoto Y, Suzuki N. Oocyte retrieval after heterotopic transplantation of ovarian tissue cryopreserved by closed vitrification protocol. *Journal of Assisted Reproduction and Genetics*. 2018; 35(11): 2037-2048.
- 28) 杉本公平, 阿南理恵, 白石絵莉子, 杉下陽堂, 鈴木直. 本邦におけるがんサバイバーに対する里親制度・養子縁組制度の実態調査. *日本生殖心理学会誌*. 2018; 4(2): 12-19.
- 29) Furui T, Takai Y, Kimura F, Kitaj

- ima M, Nakatsuka M, Morishige K, Higuchi A, Shimizu C, Ozawa M, Ohara A, Tatara R, Nakamura T, Horibe K, Suzuki N. Fertility preservation in adolescent and young adult cancer patients: From a part of a national survey on oncofertility in Japan. *Reproductive Medicine and Biology*. 2019; 18(1): 97-104.
- 30) Furui T, Takai Y, Kimura F, Kitajima M, Nakatsuka M, Morishige KI, Higuchi A, Shimizu C, Ozawa M, Ohara A, Tatara R, Nakamura T, Horibe K, Suzuki N. Problems of reproductive function in survivors of childhood and adolescent and young adult onset cancer revealed in a part of a national survey of Japan. *Reproductive Medicine and Biology*. 2019; 18(1): 105-110.
- 31) Anazodo A, Laws P, Logan S, Saunders C, Travaglia J, Gerstl B, Bradford N, Cohn R, Birdsall M, Barr R, Suzuki N, Takae S, Marinho R, Xiao S, Qiong-Hua C, Mahajan N, Patil M, Gunasheela D, Smith K, Sender L, Melo C, Almeida-Santos T, Salama M, Appiah L, Su I, Lane S, Woodruff TK, Pacey A, Anderson R A, Shenfield F, Ledger W, Sullivan E. How can we improve oncofertility care for patients? A systematic scoping review of current international practice and models of care. *Hum Reprod Update*. 2019; 25(2): 159-179.
- 32) Koizumi T, Nara K, Hashimoto T, Takamizawa S, Sugimoto K, Suzuki N, Morimoto Y. Influence of Negative Emotional Expressions on the Outcomes of Shared Decision-making During Oncofertility Consultations in Japan. *Journal of Adolescent and Young Adult Oncology*, 2018 (7):4, 504-508.
- 33) Shiraishi E, Sugimoto K, Shapiro JS, Ito Y, Kamoshita K, Kusuhara A, Haino T, Koizumi T, Okamoto A, Suzuki, N. Study of the Awareness of Adoption as a Family-Building Option Among Oncofertility Stakeholders in Japan. *Journal of global oncology*. 2018(4):1-7
- 34) 奈良和子・小泉智恵・吉田沙蘭・渡邊裕美・林美智子 「妊孕性温存における心理支援と心理職の役割 日本がん・生殖医療学会誌」. 2019: 2:1; 57-61.
- 35) 小泉智恵 2019 「がん・生殖医療における心理ケア 『新・不妊ケアABC』」 p.225-226 医歯薬出版.
- 36) 川井清考、大内久美：「生殖補助医療（ARTの実際）」治療 南山堂 P424-428 2018
- 37) 奈良和子、小泉智恵、吉田沙蘭、渡邊裕美、林美智子：【総説】「妊孕性温存における心理支援と心理職の役割」日本がん・生殖医療学会誌 Vol.2.No.1 P7-11 2019
- 38) Furui T, Takai Y, Kimura F, Kitajima M, Nakatsuka M, Morishige K-I, Higuchi A, Shimizu C, Ozawa M, Ohara A, Tatara R, Nakamura T, Horibe K, Suzuki N: Problems of reproductive function in survivors of childhood and adolescent and young adult onset cancer revealed in

- a part of a national survey of Japan. *Reprod Med Biol*. 18:97-104. 2018.
- 39) Furui T, Takai Y, Kimura F, Kitajima M, Nakatsuka M, Morishige K-I, Higuchi A, Shimizu C, Ozawa M, Ohara A, Tatara R, Nakamura T, Horibe K, Suzuki N: Fertility preservation in adolescent and young adult cancer patients: From a part of a national survey on oncofertility in Japan. *Reprod Med Biol*. 18: 108-110. 2018.
- 40) 志賀友美、古井辰郎、森重健一郎：岐阜県での周産期メンタルヘルスケアの現状と今後の取り組み .日本精神科病院協会雑誌 37(2) ; 39-41 , 2018
- 41) 古井辰郎、高井泰、木村文則、北島道夫、中塚幹也、森重健一郎、山本一仁、橋本大哉、松本公一、大園誠一郎、堀部敬三、鈴木直：本邦におけるAYA世代がん患者に対する妊孕性に関する支援体制 がん専門医調査の結果より .癌と化学療法 45(5) : 841-846 , 2018
- 42) 寺澤恵子、古井辰郎、山本志緒理、菊野享子、竹中基記、森重健一郎：患者の妊孕性温存における黄体期黄体ホルモンスタートの有用性の検討 .日本がん・生殖医療学会誌 2(1) : 54-58, 2019
- 43) 高井泰：世界のがん生殖医療とわが国の補助金制度 ,登録制度の取り組み .産科と婦人科 2019; 86 (4) : 411-416.
- 44) 高井 泰：遺伝性乳癌卵巣癌(HBOC)に対する新たな産婦人科診療 HBOC 患者に対するがん・生殖医療 . 母性衛生 2019; 59 (4) : 学 3-学 12.
- 45) 重松幸佑, 高井泰: 思春期 (AYA) 血液がん × 未受精卵子凍結保存 . ヘルスケアプロバイダーのためのがん・生殖医療, 鈴木直, 高井泰, 野澤美江子, 渡邊知映編 . 大阪, メディカ出版, 176-181, 2019
- 46) Kawaguchi R, Matsumoto K, Akira S, Ishitani K, Iwasaku K, Ueda Y, Okagaki R, Okano H, Oki T, Koga K, Kido M, Kurabayashi T, Kuribayashi Y, Sato Y, Shiina K, Takai Y, Tanimura S, Chaki O, Terauchi M, Todo Y, Noguchi Y, Nose-Ogura S, Baba T, Hirasawa A, Fujii T, Fuji T, Maruyama T, Miyagi E, Yanagida K, Yoshino O, Iwashita M, Maeda T, Minegishi T, Kobayashi H: Guidelines for office gynecology in Japan: Japan Society of Obstetrics and Gynecology (JSOG) and Japan Association of Obstetricians and Gynecologists (JAOG) 2017 edition. *J Obstet Gynaecol Res* 2019:
- 47) Furui T, Takai Y, Kimura F, Kitajima M, Nakatsuka M, Morishige KI, Higuchi A, Shimizu C, Ozawa M, Ohara A, Tatara R, Nakamura T, Horibe K, Suzuki N: Fertility preservation in adolescent and young adult cancer patients: From a part of a national survey on oncofertility in Japan. *Reprod Med Biol* 2019; 18 (1): 97-104.
- 48) Furui T, Takai Y, Kimura F, Kitajima M, Nakatsuka M, Morishige KI, Higuchi A, Shimizu C, Ozawa M, Ohara A, Tatara R, Nakamura T, Horibe K, Suzuki N: Problems of reproductive function in survivors of

- childhood- and adolescent and young adult-onset cancer revealed in a part of a national survey of Japan. *Reprod Med Biol* 2019; 18 (1): 105-110.
- 49) 高井泰: 遺伝性乳癌卵巣癌(HBOC)に対する新たな産婦人科診療 HBOC の基礎知識. *母性衛生* 2018; 59 (1): 学 12-学 17.
- 50) 高井泰: 卵巣内の「幹細胞」をめぐる現状. *日本生殖内分泌学会雑誌* 2018; 23: 4-8.
- 51) 高井泰: 新たな生殖医療技術. *日本臨牀* 2018; 76 (Suppl 2): 150-157.
- 52) 高井泰: ドイツ・スイスおよびオーストラリアにおける若年がん患者に対するか?ん・生殖医療の実際?わが国として学ぶ?へ?きものは? *日本か?ん・生殖医療学会誌* 2018; 1 (1): 40-44.
- 53) 高井 泰: 遺伝性乳癌卵巣癌(HBOC)に対する新たな産婦人科診療 HBOC 卵巣癌の予防と治療. *母性衛生* 2018; 59 (2): 学 3-学 10.
- 54) 高井 泰: 【女性のアンチエイジング-老化のメカニズムから予防・対処法まで】部位別 老化のメカニズムと予防・対処法 卵巣・卵子の老化. *臨床婦人科産科* 2018; 72 (12): 1220-1227.
- 55) 古井辰郎, 高井泰, 木村文則, 北島道夫, 中塚幹也, 森重健一郎, 山本一仁, 橋本大哉, 松本公一, 大園誠一郎, 堀部敬三, 鈴木直: 本邦における AYA 世代がん患者に対する妊孕性に関する支援体制 がん専門医調査の結果より. *癌と化学療法* 2018; 45 (5): 841-846.
- 56) Takai Y: Recent advances in oncofertility care worldwide and in Japan. *Reprod Med Biol* 2018; 17 (4): 356-368.
- 57) Furui T, Takai Y, Kimura F, Kitajima M, Nakatsuka M, Morishige K, Yamamoto K, Hashimoto H, Matsumoto K, Ozono S, Horibe K, Suzuki N: [Current Status of Oncofertility in Adolescent and Young Adult (AYA) Generation Cancer Patients in Japan - National Survey of Oncologists]. *Gan To Kagaku Ryoho* 2018; 45 (5): 841-846.
- 58) Komatsu H, Yagasaki K, Yamauchi H. Fertility decision-making under certainty and uncertainty in cancer patients. *Sex Reprod Healthc.* 2018 Mar;15:40-45. doi: 10.1016/j.srhc.2017.12.002. Epub 2017 Dec
- 59) Kimura F, Tsuji S, Murakami T. Molecular pathogenesis of uterine fibroids. *Uterine Fibroids and Adenomyosis*. Norihiro Sugino 37-58. 2018 Springer. Tokyo
- 60) 古井辰郎、鈴木直、中塚幹也、北島道夫、木村文則、高井泰、森重健一郎. 女性の妊孕性, AYA 世代がんサポートガイド, 平成 27-29 年度厚生労働科学研究費補助金(がん対策推進総合研究事業)「総合的な思春期・若年成人 (AYA) 世代のがん対策のあり方に関する研究」班編, 76-81, 2018 金原出版 東京
- 61) 木村文則. 小児がん患者に対する妊孕性温存治療, *ヘルスケアプロバイダーのためのがん・生殖医療* 鈴木直、高井泰、野澤美江子、渡邊知映 編, 142-147, 2019 メディカ出版 東京
- 62) Kondo A, Akada S, Akiyama K, Arak

- awa M, Ichi S, Inamoto Y, Ishida T, Ishikawa H, Itoh T, Izumi A, Kimura F, Kondo AS, Matsuoka R, Miyauchi A, Mochizuki J, Momohara Y, Morikawa S, Morioka M, Morota N, Nakabe K, Obayashi S, Oku M, Samura O, Sasahara J, Sase M, Shimamoto K, Shimamura K, Sumigama S, Tada K, Takahashi H, Tani A, Wada S, Wada-Hiraike O, Watanabe T, Yamaguchi M, Yasui T, Yokomine M. Real prevalence of neural tube defects in Japan: How many of such pregnancies have been terminated? *Congenit Anom (Kyoto)*. 2019 Mar 18. doi: 10.1111/cga.12333. [Epub ahead of print]
- 63) Kimura F, Takebayashi A, Ishida M, Nakamura A, Kitazawa J, Morimune A, Hirata K, Takahashi A, Tsuji S, Takashima A, Amano T, Tsuji S, Ono T, Kaku S, Kasahara K, Moritani S, Kushima R, Murakami T. Review: Chronic endometritis and its effect on reproduction. *J Obstet Gynaecol Res*. 2019 Mar 6. doi: 10.1111/jog.13937. [Epub ahead of print]
- 64) Seita Y, Iwatani C, Tsuchiya H, Nakamura S, Kimura F, Murakami T, Ema M. Poor second ovarian stimulation in cynomolgus monkeys (*Macaca fascicularis*) is associated with the production of antibodies against human follicle-stimulating hormone. *J Reprod Dev*. 2019 Mar 7. doi: 10.1262/jrd.2018-156. [Epub ahead of print]
- 65) Wakinoue S, Chano T, Amano T, Isono T, Kimura F, Kushima R, Murakami T. ADP-ribosylation factor-like 4C predicts worse prognosis in endometriosis-associated ovarian cancers. *Cancer Biomark*. 2019;24(2):223-229.
- 66) Takahashi A, Kita N, Tanaka Y, Tsuji S, One T, Ishiko A, Kimura F, Takahashi K, Murakami T. Effects of high-dose dexamethasone in postpartum women with class 1 haemolysis, elevated liver enzymes and low platelets (HELLP) syndrome. *J Obstet Gynaecol*. 39: 335-339, 2019
- 67) Tanaka Y, Kimura F, Zheng L, Kaku S, Takebayashi A, Kasahara K, Tsuji S, Murakami T. Protective effect of a mechanistic target of rapamycin inhibitor on an in vivo model of cisplatin-induced ovarian gonadotoxicity. *Exp Anim*. 67:493-500, 2018
- 68) Kasahara K, Mimura T, Moritani S, Kawasaki T, Imai S, Tsuji S, Kimura F, Murakami T. Subchondral Insufficiency Fracture of the Femoral Head in a Pregnant Woman with Pre-existing Anorexia Nervosa. *Tohoku J Exp Med*. 45:1-5, 2018
- 69) Fuminori Kimura, Luyi Zheng, Chisako Horikawa, Aina Morimune, Takashi Murakami. Review: Sex steroid hormones and their related substances for primordial follicle activation. *Journal of Mammalian Ova Research* 35: 3-12, 2018
- 70) Fuminori Kimura, Kazumi Kishida, Chisa Horikawa, Mika Izuno, Akiko

- Nakamura, Jun Kitazawa, Aina Morimune, Shoko Tsuji, Akie Takebayashi, Akiko Takashima, Shoji Kaku, Takashi Murakami. Review: The role of phospholipase in sperm physiology and its therapeutic potential in male infertility. *Journal of Mammalian Ova Research* 35: 43-52, 2018.
- 71) Zheng L, Kimura F, Wu D, Morimune A, Niwa Y, Mita S, Takahashi K, Murakami T. Dienogest suppresses the activation of primordial follicles and preserves the primordial follicle stockpile for fertility in mice. *Reprod Biomed Online*. 36: 371-379, 2018
- 72) Furui T, Takai Y, Kimura F, Kitajima M, Nakatsuka M, Morishige KI, Higuchi A, Shimizu C, Ozawa M, Ohara A, Tatara R, Nakamura T, Horibe K, Suzuki N. Fertility preservation in adolescent and young adult cancer patients: From a part of a national survey on oncofertility in Japan. *Reprod Med Biol*. 18:97-104, 2018
- 73) Furui T, Takai Y, Kimura F, Kitajima M, Nakatsuka M, Morishige KI, Higuchi A, Shimizu C, Ozawa M, Ohara A, Tatara R, Nakamura T, Horibe K, Suzuki N. Problems of reproductive function in survivors of childhood- and adolescent and young adult-onset cancer revealed in a part of a national survey of Japan. *Reprod Med Biol*. 18:105-110, 2018
- 74) Furui T, Takai Y, Kimura F, Kitajima M, Nakatsuka M, Morishige K, Yamamoto K, Hashimoto H, Matsumoto K, Ozono S, Horibe K, Suzuki N. Current Status of Oncofertility in Adolescent and Young Adult (AYA) Generation Cancer Patients in Japan - National Survey of Oncologists. *Gan To Kagaku Ryoho*. 45: 841-846, 2018 Japanese
- 75) 木村文則. Oncofertilityの現状と未来 生殖医学の立場から, 研修ノート No. 101 「婦人科がん医療の近未来」日本産婦人科医会編:80-83, 2018
- 76) 木村文則. 画像診断, 超音波検査 MRI 検査, 研修ノート No. 102 「子宮内膜症・子宮腺筋症」日本産婦人科医会編 : 51-53, 2018
- 77) 木村文則. 乳がんにおける妊孕性温存の現状, 地域がん・生殖医療ネットワークの実際, 滋賀がん・生殖医療ネットワークについて-, 日本乳癌検診学会雑誌 27:135-138, 2018
- 78) 木村文則. 慢性子宮内膜炎と生殖機能, *Fuji Infertility and Menopause* 24: 7-9, 2018
- 79) 木村文則. 生殖医療における黄体賦活と補充, *Fuji Infertility and Menopause* 23: 10-13, 2018
- 80) 木村文則. 不妊症の up to date 慢性子宮内膜炎の病態, 生涯研修プログラム 日本産科婦人科学会雑誌 70: 2218-2222, 2018
- 81) 木村文則. 滋賀がん・生殖医療ネットワーク構築と運営に関して, 日本小児血液癌学会雑誌 55: 133-135, 2018
- 82) 木村文則. 慢性子宮内膜炎の病態と治療意義, Preconceptional care

- 健やかな母子となるための最新トピック, *Hormone Frontier in Gynecology* 25, 283-289, 2018.
- 83) A questionnaire survey on attitude toward sperm cryopreservation among hematologists in Japan: Kobayashi T, Okada H, et al. *Int J Hematol*, 105(3), 349-352, 2017
- 84) Current states of sperm banking for young cancer patients in Japanese nationwide survey.: Yumura Y., Okada H., et al. *Asian J Andrology*, 20(4), 336-341, 2018
- 85) Sasaki H, Kawamura K, Kawamura T, Odamaki T, Katsumata N, Xiao JZ, Suzuki N, Tanaka M. Distinctive subpopulations of the intestinal microbiota are present in women with unexplained chronic anovulation. *Reprod Biomed Online*. 2019; 38(4): 570-578.
- 86) Sanada Y, Harada M, Kunitomi C, Kanatani M, Izumi G, Hirata T, Fujii T, Suzuki N, Morishige KI, Aoki D, Irahara M, Tsugawa K, Tanimoto M, Nishiyama H, Hosoi H, Sugiyama K, Kawai A, Osuga Y. A Japanese nationwide survey on the cryopreservation of embryos, oocytes and ovarian tissue for cancer patients. *J Obstet Gynaecol Res*. 2019; 45(10): 2021-2028.
- 87) Takae S, Lee JR, Mahajan N, Wiweko B, Sukcharoen N, Novero V, Anazodo AC, Gook D, Tzeng CR, Doo AK, Li W, Le CTM, Di W, Chian RC, Kim SH, Suzuki N. Fertility Preservation for Child and Adolescent Cancer Patients in Asian Countries. *Front Endocrinol*. 2019; eCollection 2019: 1-10.
- 88) Hasegawa J, Kurasaki A, Hata T, Honma C, Miura A, Kondo H, Suzuki N. Diagnosis of placenta accreta spectrum using ultra-high-frequency probe and Superb Microvascular Imaging. *Ultrasound Obstet Gynecol*. 2019; 54(5): 705-707.
- 89) Sato T, Sugishita Y, Suzuki Y, Kashiwagi M, Furuyama S, Nishimura S, Uekawa A, Koizumi T, Awaji M, Sawa T, Tozawa A, Komatsu V, Suzuki N. Radiofrequency identification tag system improves the efficiency of closed vitrification for cryopreservation and thawing of bovine ovarian tissues. *J Assist Reprod Genet*. 2019; 36(11): 2251-2257.
- 90) Ito K, Hasegawa J, Iwahata H, Iwahata Y, Furuya N, Homma C, Kondo H, Suzuki N. Amniocoele after laparoscopic myomectomy: is expectant management acceptable?. *Ultrasound Obstet Gynecol*. 2020; : .
- 91) Shiraishi E, Sugimoto K, Shapiro JS, Ito Y, Kamoshita K, Kusuhara A, Haino T, Koizumi T, Okamoto A, Suzuki N. Study of the Awareness of Adoption as a Family-Building Option Among Oncofertility Stakeholders in Japan. *Journal of Global Oncology*. 2020; 6: 350-355.
- 92) Endo H, Hama N, Baghdadi M, Ishikawa K, Otsuka R, Wada H, Asano H, Endo D, Konno Y, Kato T, Watari H, Tozawa A, Suzuki N, Yokose T, Takano A, Kato H, Miyagi Y, Daigo



- Y, Seino KI.. Interleukin-34 expression in ovarian cancer: a possible correlation with disease progression. *Int Immunol.* 2020; 32(3): 175-186.
- 93) 高江正道, 鈴木直. 若年がんと妊孕性温存, 日本女性医学学会雑誌, 2019; 26(2): 212-216.
- 94) 鈴木由妃, 杉下陽堂, 鈴木直. 早発卵巣不全, 産科と婦人科 新時代のホルモン療法マニュアル, 2019; 86(Suppl.): 121-127.
- 95) Takae S, Suzuki N. Current state and future possibilities of ovarian tissue transplantation, *Reproductive Medicine and Biology*, 2019; 18(3): 217-224.
- 96) 中村健太郎, 高江正道, 鈴木直. 小児・AYA 世代がん診療ガイドラインのわが国と世界における現状, *保健の科学*, 2019; 61(8): 514-520.
- 97) Osuga Y, Hayashi K, Kanda S A multicenter, randomized, placebo-controlled, double-blind, comparative study of dienogest at 1 mg/day in patients with primary and secondary dysmenorrhea. *Fertil Steril.*, 2020; 113(3): 627-635.
- 98) Baba S, Taguchi A, Kawata A, Hara K, Eguchi S, Mori M, Adachi K, Mori S, Iwata T, Mitsuhashi A, Maeda D, Komatsu A, Nagamatsu T, Oda K, Kukimoto I, Osuga Y, Fujii T, Kawana K. Differential expression of human papillomavirus 16-, 18-, 52-, and 58-derived transcripts in cervical intraepithelial neoplasia. *Virology*, 2020; 17(1): 32.
- 99) Nakajima T, Kasuga A, Hara-Yamashita A, Ikeda Y, Asai-Sato M, Naka T, Hayashi C, Takeya C, Adachi K, Tsuruga T, Matsumoto Y, Arimoto T, Nagamatsu T, Oda K, Komatsu A, Chishima F, Osuga Y, Fujii T, Kawana K. Reconstructed uterine length is critical for the prevention of cervical stenosis following abdominal trachelectomy in cervical cancer patients. *J Obstet Gynaecol Res.*, 2020; 46(2): 328-336.
- 100) Takeuchi M, Tanikawa M, Nagasaka K, Oda K, Kawata Y, Oki S, Agapiti C, Sone K, Miyagawa Y, Hiraike H, Wada-Hiraike O, Kuramoto H, Ayabe T, Osuga Y, Fujii T. Anti-Tumor Effect of Inhibition of DNA Damage Response Proteins, ATM and ATR, in Endometrial Cancer Cells. *Cancers (Basel)*., 2019; 11(12).
- 101) Nakazawa A, Hirata T, Arakawa T, Nagashima N, Fukuda S, Neriishi K, Harada M, Hirota Y, Koga K, Wada-Hiraike O, Koizumi Y, Fujii T, Irahara M, Osuga Y. A survey of public attitudes toward uterus transplantation, surrogacy, and adoption in Japan. *PLoS One.*, 2019; 14(10): e0223571.
- 102) Makii C, Ikeda Y, Oda K, Uehara Y, Nishijima A, Koso T, Kawata Y, Kashiyama T, Miyasaka A, Sone K, Tanikawa M, Tsuruga T, Mori-Uchino M, Nagasaka K, Matsumoto Y, Wada-Hiraike O, Kawana K, Hasegawa K, Fujiwara K, Aburatani H, Osuga Y, Fujii T. Anti-tumor activity of dual inhibition of phosphatidylin

- ositol 3-kinase and MDM2 against clear cell ovarian carcinoma. *Gynecol Oncol*, 2019; 155(2): 331-339.
- 103) Aotsuka A, Matsumoto Y, Arimoto T, Kawata A, Ogishima J, Taguchi A, Tanikawa M, Sone K, Mori-Uchino M, Tsuruga T, Oda K, Kawana K, Osuga Y, Fujii T. Interleukin-17 is associated with expression of programmed cell death 1 ligand 1 in ovarian carcinoma. *Cancer Sci*, 2019; 110(10): 3068-3078.
- 104) Takeuchi M, Nagasaka K, Yoshida M, Kawata Y, Miyagawa Y, Tago S, Hiraike H, Wada-Hiraike O, Oda K, Osuga Y, Fujii T, Ayabe T, Kim SH, Fujii T. On-chip immunofluorescence analysis of single cervical cells using an electroactive micro well array with barrier for cervical screening. *Biomicrofluidics*, 2019; 13(4): 44107.
- 105) Terao H, Wada-Hiraike O, Nagumo A, Kunitomi C, Azhary JMK, Harada M, Hirata T, Hirota Y, Koga K, Fujii T, Osuga Y. Role of oxidative stress in follicular fluid on embryos of patients undergoing assisted reproductive technology treatment. *J Obstet Gynaecol Res*, 2019; 45(9): 1884-1891.
- 106) Takeuchi A, Koga K, Satake E, Makabe T, Taguchi A, Miyashita M, Takamura M, Harada M, Hirata T, Hirota Y, Yoshino O, Wada-Hiraike O, Fujii T, Osuga Y. Endometriosis Triggers Excessive Activation of Primordial Follicles via PI3K-PTE N-Akt-Foxo3 Pathway. *J Clin Endocrinol Metab*, 2019; 104(11): 5547-5554.
- 107) Kojima M, Sone K, Oda K, Hamamoto R, Kaneko S, Oki S, Kukita A, Machino H, Honjoh H, Kawata Y, Kashiwazaki T, Asada K, Tanikawa M, Mori-Uchino M, Tsuruga T, Nagasaka K, Matsumoto Y, Wada-Hiraike O, Osuga Y, Fujii T. The histone methyltransferase WHSC1 is regulated by EZH2 and is important for ovarian clear cell carcinoma cell proliferation. *BMC Cancer*, 2019; 19(1): 455.
- 108) D'Hooghe T, Fukaya T, Osuga Y, Beusy R, Lopez B, Holtkamp GM, Miyazaki K, Skillern L. Efficacy and safety of ASP1707 for endometriosis-associated pelvic pain: the phase II randomized controlled TERRA study *Hum Reprod*, 2019; 34(5): 813-823.
- 109) Kukita A, Sone K, Oda K, Hamamoto R, Kaneko S, Komatsu M, Wada M, Honjoh H, Kawata Y, Kojima M, Oki S, Sato M, Asada K, Taguchi A, Miyasaka A, Tanikawa M, Nagasaka K, Matsumoto Y, Wada-Hiraike O, Osuga Y, Fujii T. Histone methyltransferase SMYD2 selective inhibitor LLY-507 in combination with poly ADP ribose polymerase inhibitor has therapeutic potential against high-grade serous ovarian carcinomas. *Biochem Biophys Res Commun*, 2019; 513(2): 340-346.
- 110) 大須賀 穰 (第 1 章) 総論 GnRH アナログ製剤の種類と特徴 【新時代のホ

- ルモン療法マニュアル】産科と婦人科, 2019; 86 巻 Suppl.: 6-12.
- 111) Azhary JMK, Harada M, Kunitomi C, Kusamoto A, Takahashi N, Nose E, Oi N, Wada-Hiraike O, Urata Y, Hirata T, Hirota Y, Koga K, Fujii T, Osuga Y Androgens Increase Accumulation of Advanced Glycation End Products in Granulosa Cells by Activating ER Stress in PCOS. *Endocrinology*, 2020; 161(2).
- 112) Kunitomi C, Harada M, Takahashi N, Azhary JMK, Kusamoto A, Nose E, Oi N, Takeuchi A, Wada-Hiraike O, Hirata T, Hirota Y, Koga K, Fujii T, Osuga Y. Activation of endoplasmic reticulum stress mediates oxidative stress-induced apoptosis of granulosa cells in ovaries affected by endometrioma. *Mol Hum Reprod*, 2020; 26(1): 40-52.
- 113) Sanada Y, Harada M, Kunitomi C, Kanatani M, Izumi G, Hirata T, Fujii T, Suzuki N, Morishige KI, Aoki D, Irahara M, Tsugawa K, Tanimoto M, Nishiyama H, Hosoi H, Sugiyama K, Kawai A, Osuga Y. A Japanese nationwide survey on the cryopreservation of embryos, oocytes and ovarian tissue for cancer patients. *J Obstet Gynaecol Res.*, 2019; 45(10): 2021-2028.
- 114) 小泉智恵: Q3-2 患者が未成年の場合には、どのような関りが望ましいか? . In 生殖医療スタッフ必携! がん患者の妊孕性温存のための診療マニュアル, ed. 大須賀穰) 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) 革新的がん医療実用化研究事業 生殖機能温存がん治療法の革新的発展にむけた総合的プラットフォームの形成 研究班(代表 大須賀穰) 東京都: 金原出版株式会社. pp 70 72, 2019.
- 115) 渡邊裕美, 塚野佳世子, 奈良和子, 小林真理子, 小泉智恵: がん患者の妊娠、出産、育児に寄り添う心理支援. *日本生殖心理学会誌* 5: 35 40, 2019.
- 116) 小泉智恵, 安宅大輝, 拝野貴之, 山本志奈子, 橋本知子, 稲川早苗, 奈良和子, 片桐由起子, 杉下陽堂, 鈴木由妃, 中嶋真理子, 牧野さくら, 楠原淳子, 湯村寧, 星るり子, 笠原佑太, 菊地盤, 高見澤聡: がん・生殖医療におけるサイコソーシャルケア: 2019年までの動向. *日本がん・生殖医療学会誌* 3: 57 62, 2020.
- 117) 杉本公平. 親になる支援 家族づくりの在り方 鈴木直, 高井泰, 野澤美江子, 渡邊知映編, ヘルスケアプロバイダーのための がん・生殖医療, メディカ出版, 大阪, 2019, 164-167.
- 118) 大野田晋、杉本公平. 総論 5 患者への意思確認の際、留意すべきことは何か? Q5-2 がん治療による不妊のリスクや治療後の妊孕性温存療法の安全性について、どのように説明すべきか? 生殖機能温存がん治療法の革新的発展にむけた総合的プラットフォームの形成研究班(代表 大須賀穰) 編, がん患者の妊孕性温存のための診療マニュアル, 金原出版株式会社, 東京, 2019, 39-40.
- 119) 山本篤、杉本公平. 各論 1 疾患別の対応と情報提供の方法は? Q1-3 拳児希望を有する悪性リンパ腫患者

- に勧められる妊孕性温存療法には、どのようなものがあるか？ 生殖機能温存がん治療法の革新的発展にむけた総合的プラットフォームの形成研究班（代表 大須賀穰）編，がん患者の妊孕性温存のための診療マニュアル，金原出版株式会社，東京，2019，46-47.
- 120) 白石絵莉子、杉本公平．養子縁組 森本 義晴、太田 邦明，高齢不妊診療ハンドブック，医学書院，東京，2019，208-211.
- 121) 杉本公平．IA 女性不妊症 1 接遇 1 不妊患者とのコミュニケーションスキル 柴原 浩章，不妊症・不育症診療 その伝承とエビデンス，中外医学社，東京，2019，2-7.
- 122) 杉本公平．その他 4 不妊患者の精神的サポート 柴原 浩章，不妊症・不育症診療 その伝承とエビデンス，中外医学社，東京，2019，743-746.
- 123) 杉本公平．その他 5 生殖医療におけるシェアード・ディシジョンメイキング 柴原 浩章，不妊症・不育症診療 その伝承とエビデンス，中外医学社，東京，2019，747-751. 杉本公平．【不妊症・不育症の標準的治療と先端技術の課題】里親制度・特別養子縁組制度 日本医師会雑誌，2020；148：2422.
- 124) 杉本公平．【知っておきたい周産期にかかわる法律・制度】生殖医療の進歩に伴う多様な家族形成 周産期医学，2020；50：84-87.
- 125) 杉本公平．がん患者の生殖機能温存 Up-to-date がん・生殖医療における意思決定支援のための心理社会的支援 日本産科婦人科学会雑誌，2019；71：2412-2416.
- 126) 岩端威之，慎武，田中貴士，大坂晃由，下村之人，南哲司，吉川直希，寺井一隆，大野田晋，山本篤，小堀善友，杉本公平，岡田弘．【AYA 世代のがんを考える】AYA 世代でがんを発症した男性患者に対する診察上の課題 保健の科学，2019；61：521-527.
- 127) 大野田晋，杉本公平，山 篤．【新時代に入ったがん・生殖医療】がん・生殖医療の現状と今後の展望 コメディカルによるがん・生殖医療のサポート体制 産科と婦人科，2019；86：425-429.
- 128) 川井清考．第 1 章 2 生殖機能に関する基礎知識 女性の生殖機能 鈴木直，高井泰，野澤美江子，渡邊知映編，ヘルスケアプロバイダーのためのがん・生殖医療 ，メディカ出版，大阪，2019，6-9.
- 129) 奈良和子．第 3 章 11 妊孕性温存が困難な場合の心理支援～女性～ 鈴木直，高井泰，野澤美江子，渡邊知映編，ヘルスケアプロバイダーのためのがん・生殖医療 ，メディカ出版，大阪，2019，156-159.
- 130) 川井清考．総論 4 Q4-2 体外受精（採卵）および胚移植に伴うリスクについてどのような説明をすべきか 生殖機能温存がん治療法の革新的発展にむけた総合的プラットフォームの形成研究班（代表 大須賀穰）編，がん患者の妊孕性温存のための診療マニュアル，金原出版 ，東京，2019，31-33.
- 131) 奈良和子．特別企画不妊・生殖の問題に関わる心理臨床 がん・生殖医療の心理支援—妊孕性温存の医学的適応と社会的適応 子育て支援と心理臨床，

- 2019; vol.18: 52 - 57.
- 132) 渡邊裕美、小林真理子、小泉智恵、奈良和子、塚野佳世子. 【総説】「がん患者の妊娠・出産・育児に寄り添う心理支援」日本生殖心理学会誌, 2019; Vol.5: 35-40.
- 133) 福間英祐. がん対策最前線 第一特集1 「乳がんなんて怖くない!」そんな時代をめざしたい くらしとからだ, 2019; No.98: 43895.
- 134) 福間英祐. 女性が心配な病気 No.1 の乳がん 早期なら"切らない治療法"も 日経ヘルス, 2019; 12月号: 80-83.
- 135) 伊藤由夏、古井辰郎、桑原美紀、苅谷三月、寺澤恵子、森重健一郎、二村学. 第4章 事例で学ぶがん・生殖医療 1. 乳がん×未授精卵子凍結保存. 鈴木直、高井泰、野澤美江子、渡邊知映編, ヘルスケアプロバイダーのためのがん・生殖医療., メディカ出版, 大阪, 2019, 170-174.
- 136) 古井辰郎、寺澤恵子、菊野享子、志賀友美、山本晃央、森重健一郎. Chapter9 がんと生殖医療、1わが国におけるがん・生殖医療の実情. 鈴木秋悦、久保春海編, 新不妊ケアABC., 医歯薬出版, 東京, 2019, 207-209.
- 137) 古井辰郎、森重健一郎. Q4 がん・生殖医療の提供体制は? 3 紹介できる地域ネットワークは? 生殖機能温存がん治療法の革新的発展にむけた総合的プラットフォームの形成研究班(代表 大須賀穰)編, がん患者の妊孕性温存のための診療マニュアル, 金原出版, 東京, 2019, 79-80.
- 138) 古井辰郎、森重健一郎. がん治療に伴う女性の妊孕性低下と対策(がん・生殖医療), 内科9, 南江堂, 東京, 2019, 1911-1913.
- 139) 古井辰郎、寺澤恵子、村瀬紗姫、森重健一郎. 7. 広汎子宮頸部切除術後の不妊治療 柴原浩章編, 不妊症・不育症診療, 中外医学社, 東京, 2019, 758-761.
- 140) Furui T, Takai Y, Kimura F, et al.. Fertility preservation in adolescent and young adult cancer patients: From a part of a national survey on oncofertility in Japan. *Reprod Med Biol.*, 2019; 18(1): 97-104.
- 141) Furui T, Takai Y, Kimura F, et al.. Problems of reproductive function in survivors of childhood and adolescent and young adult onset cancer revealed in a part of a national survey of Japan. *Reprod Med Biol.*, 2019; 18(1): 105-110.
- 142) Kawaguchi M, Kato H, Suzui N, Furui T, et al.. MR imaging findings differentiating uterine submucosal polypoid adenomyomas from endometrial polyps. *Br J Radiol.*, 2019; 92(1095): 20180430. doi:10.1259/bjr.20180430..
- 143) Kato H, Esaki K, Yamaguchi T, Tanaka H, Kajita K, Furui T, et al.. Predicting Early Response to Chemoradiotherapy for Uterine Cervical Cancer Using Intravoxel Incoherent Motion MR Imaging. *Magn Reson Med Sci.*, 2019; 18(4): 293-298.
- 144) Ando T, Kato H, Kawaguchi M, Furui T, et al.. MR findings for differentiating decidualized endometriomas from seromucinous borderline tumors of the ovary. *Abdominal*

- Radiology., 2020; in press: .
- 145) 寺澤恵子、古井辰郎、山本志緒理、菊野享子、竹中基記、森重健一郎. 患者の妊孕性温存における黄体期黄体ムスタートの有用性の検討 . 日本がん・生殖医療学会誌, 2019; 2(1): 54-58.
- 146) Uemura N, Takai Y, Mikami Y, Ogasawara M, Saitoh M, Baba K, Tamaru J, Hara M, Seki H. Molecular cytogenetic analysis of a hydatidiform mole with coexistent fetus: a case report J Med Case Rep, 2019; 13 (1): 256.
- 147) Sakai A, Matsunaga S, Nakamura E, Samejima K, Ono Y, Yamamoto K, Takai Y, Maeda H, Seki H. Optimal preoperative autologous blood storage volume required in surgeries for placenta previas and low-lying placentas J Obstet Gynaecol Res, 2019; 45 (9): 1843-1850.
- 148) Nakamura E, Mikami Y, Era S, Ono Y, Matsunaga S, Nagai T, Takai Y, Saitoh M, Baba K, Seki H. Differences in the prognosis of preeclampsia according to the initial symptoms: A single-center retrospective report Pregnancy Hypertens, 2019; 16: 126-130.
- 149) Mikami Y, Takai Y, Obata-Yasuoka M, Kumagai R, Yagyu H, Shigematsu K, Huang H, Uemura N, Shinsaka M, Saitoh M, Baba K, Seki H. Diagnosis of female 17alpha-hydroxylase deficiency after gonadectomy: a case report J Med Case Rep, 2019; 13 (1): 235.
- 150) Matsunaga S, Takai Y, Seki H. Fibrinogen for the management of critical obstetric hemorrhage J Obstet Gynaecol Res, 2019; 45 (1): 13-21.
- 151) MacDonald JA, Takai Y, Ishihara O, Seki H, Woods DC, Tilly JL. Extracellular matrix signaling activates differentiation of adult ovary-derived oogonial stem cells in a species-specific manner Fertil Steril, 2019; 111 (4): 794-805.
- 152) Kawaguchi R, Matsumoto K, Akira S, Ishitani K, Iwasaku K, Ueda Y, Okagaki R, Okano H, Oki T, Koga K, Kido M, Kurabayashi T, Kuribayashi Y, Sato Y, Shiina K, Takai Y, Tanimura S, Chaki O, Terauchi M, Todo Y, Noguchi Y, Nose-Ogura S, Baba T, Hirasawa A, Fujii T, Fuji T, Maruyama T, Miyagi E, Yanagida K, Yoshino O, Iwashita M, Maeda T, Minegishi T, Kobayashi H. Guidelines for office gynecology in Japan: Japan Society of Obstetrics and Gynecology (JSOG) and Japan Association of Obstetricians and Gynecologists (JAOG) 2017 edition J Obstet Gynaecol Res, 2019; 45 (4): 766-786.
- 153) Huang H, Mikami Y, Shigematsu K, Uemura N, Shinsaka M, Iwatani A, Miyake F, Kabe K, Takai Y, Saitoh M, Baba K, Seki H. Kagami-Ogata syndrome in a fetus presenting with polyhydramnios, malformations, and preterm delivery: a case report J Med Case Rep, 2019; 13 (1): 340.
- 154) Furui T, Takai Y, Kimura F, Kitaj

- ima M, Nakatsuka M, Morishige KI, Higuchi A, Shimizu C, Ozawa M, Ohara A, Tatara R, Nakamura T, Horibe K, Suzuki N. Fertility preservation in adolescent and young adult cancer patients: From a part of a national survey on oncofertility in Japan *Reprod Med Biol*, 2019; 18 (1): 97-104.
- 155) Furui T, Takai Y, Kimura F, Kitajima M, Nakatsuka M, Morishige KI, Higuchi A, Shimizu C, Ozawa M, Ohara A, Tatara R, Nakamura T, Horibe K, Suzuki N. Problems of reproductive function in survivors of childhood- and adolescent and young adult-onset cancer revealed in a part of a national survey of Japan *Reprod Med Biol*, 2019; 18 (1): 105-110.
- 156) 重松幸佑, 高井泰. 思春期 (AYA) 血液がん×未受精卵子凍結保存 鈴木直、高井泰、野澤美江子、渡邊知映編, ヘルスケアプロバイダーのためのがん・生殖医療, メディカ出版, 大阪, 2019, 176-181.
- 157) 高井泰. Q2-2 疾患別に適した排卵誘発法は? 生殖機能温存がん治療法の革新的発展にむけた総合的プラットフォームの形成研究班, がん患者の妊孕性温存のための診療マニュアル, 金原出版, 東京, 2019, 6-8.
- 158) 高井泰. Q4-2 がんを取り扱う診療施設と同一施設内でがん・生殖医療を行っていないばあいの対応は? 生殖機能温存がん治療法の革新的発展にむけた総合的プラットフォームの形成研究班, がん患者の妊孕性温存のための診療マニュアル, 金原出版, 東京, 2019, 77-76.
- 159) 高井泰. 月経異常 d. 早発卵巣不全 吉川史隆, 平松祐司, 大須賀穰, 産科婦人科疾患 最新の治療 2019-2021, 南江堂, 東京, 2019, 157-159.
- 160) 高井泰. 【ミトコンドリアと疾患・老化 細胞内代謝プラントとしての役割を知り、ミトコンドリアを標的とした創薬に挑む】(第2章)ミトコンドリアと疾患・老化 老化関連疾患(がん・糖尿病・生殖) 卵子老化とミトコンドリア 実験医学, 2019; 37 (12): 1993-1998.
- 161) 高井泰. 【新時代に入ったがん・生殖医療】世界のがん・生殖医療の現状と今後の展望 世界のがん・生殖医療とわが国の補助金制度・登録制度の取り組み 産科と婦人科, 2019; 86 (4): 411-416.
- 162) 高井泰. AYA がん患者の生殖機能温存 Up-to-date がん・生殖医療の総論・課題 日本産科婦人科学会雑誌, 2019; 71 (11): 2406-2411.
- 163) 木村文則. 小児がん患者に対する妊孕性温存治療 鈴木直、高井泰、野澤美江子、渡邊知映編, ヘルスケアプロバイダーのためのがん・生殖医療, メディカ出版, 東京, 2019, 142-147.
- 164) 木村文則. 女性診療科関連 排卵誘発 内科系学会社会保険連合, 標準的医療説明の手順書, 内科系学会社会保険連合編, 東京, 2019, 172-174.
- 165) 木村文則、村上 節. 慢性子宮内膜炎の病態と治療 柴原浩章, 不妊症・不育症診療 その伝承とエビデンス, 中外医学社, 東京, 2019, 530-535.
- 166) 木村文則. 各論 Q2-4. がん患者が妊

- 娠を希望した場合、催奇形性など薬物治療や放射線治療による安全性の観点からは、治療終了後のいつから妊娠可能となるか？ 生殖機能温存がん治療法の革新的発展にむけた総合的プラットフォームの形成研究班（代表 大須賀穰）編，がん患者の妊孕性温存のための診療マニュアル，金原出版，東京，2019，60-62.
- 167) 木村文則．妊娠の生理 4) 着床 岡田 英孝，新 不妊ケアABC，医師薬出版株式会社，東京，2019，48-50.
- 168) 木村文則．妊娠の生理 5) 黄体 岡田 英孝，新 不妊ケアABC，医師薬出版株式会社，東京，2019，51-52.
- 169) 木村文則．第 71 回日本産科婦人科学会・学術講演会 シンポジウム 2 妊孕性改善と生児獲得を目指した preconception care 慢性子宮内膜炎の子宮内膜の機能と分化に及ぼす影響とその治療意義 日本産科婦人科学会雑誌，2019；71：1793-1806.
- 170) 木村文則．慢性子宮内膜炎の診断と治療 日本産科婦人科医会報 ，2019；No.818：190408-190409.
- 171) 木村文則．慢性子宮内膜炎に対する薬物療法 ご存じですか？産婦人科領域で話題の薬物療法 産婦人科の実際，2019；68：361-366.
- 172) 木村文則．特集 "いつかはママに..." を応援する プレコンセプションケア 5 .子宮内膜機能とプレコンセプションケア 産婦人科の実際，2019；68：1223-1229.
- 173) 木村文則．新時代に入ったがん・生殖医療 がん生殖医療のためのネットワーク構築と運用 産科と婦人科，2019；86：417-424.
- 174) Kimura F, et al. Review: Chronic endometritis and its effect on reproduction. J Obstet Gynaecol Res, 2019; 45: 951-960..
- 175) Kimura F, et al. Successful conservative treatment for massive uterine bleeding with non-septic disseminated intravascular coagulation after termination of early pregnancy in a woman with huge adenomyosis: case report. BMC Womens Health., 2020; 20: 56.
- 176) Kitazawa J, Kimura F, et al.. Endometrial Immunity for Embryo Implantation and Pregnancy Establishment. Tohoku J Exp Med., 2020; 250: 49-60.
- 177) Takeshima T, Kuroda S, Yumura Y. Cancer Chemotherapy and Chemiluminescence Detection of Reactive Oxygen Species in Human Semen. Antioxidants, 2019; 8: doi: 10.3390/antiox8100449.
- 178) 湯村 寧．男性がん患者に対する妊孕性温存療法 7 .精子凍結保存 鈴木直、高井泰、野澤美江子、渡邊知映編，ヘルスプロバイダーのためのがん・生殖医療，メディカ出版，東京，2019，138-141.
- 179) 湯村 寧．Q11 小児がん経験者の長期的な健康管理をどのように支援しますか？ 男性 鈴木直、高井泰、野澤美江子、渡邊知映編，ヘルスプロバイダーのためのがん・生殖医療，メディカ出版，東京，2019，228-229.
- 180) 湯村 寧．Chapter 9 がん生殖医療 2 男性癌患者におけるがん・生殖医療 鈴木秋悦、久保春海，新不妊ケアABC，医師薬出版株式会社，東京，2019，210-216.



## 2. 学会発表

- 1) 鈴木直. 卵子・卵巣組織凍結の最新情報 , 第 18 回東日本ターナー講演会, 2017.
- 2) 鈴木直, 寺田幸弘. 若年卵巣機能異常の管理 , 第 69 回日本産婦人科学会学術講演会, 2017.
- 3) Keiko K, Takayuki H, Kouhei S, Yodo S, Aikou O, Nao S,. Investigation of the effect of mouse ovary storage duration on fertility, 第 69 回日本産婦人科学会学術講演会, 2017.
- 4) Takae S, Tsukada K, Sato Y, Okamoto N, Kawahara T, Suzuki N. Accuracy and safety verification of ovarian reserve assessment technique using optical coherence tomography for ovarian tissue transplantation, 第 69 回日本産婦人科学会学術講演会, 2017.
- 5) 鈴木直. 小児、思春期・若年がん患者に対する妊孕性温存の実践 がん・生殖医療連携ネットワークの重要性について , 第 26 回生殖医学研究会講演会, 2017.
- 6) 鈴木直. 小児、思春期・若年がん患者に対する妊孕性温存の実践 がん・生殖医療連携に関する病診連携の重要性について , 第 18 回八王子産婦人科病診連携研究会, 2017.
- 7) 鈴木直. がん・生殖医療ネットワークの構築に関して , がん治療と Quality of Life 最新情報フォーラム in Hiroshima, 2017.
- 8) Suzuki N. Current Issues and Future Perspectives of Oncofertility in Japan, 24th Asia Pacific Cancer Conference, 2017.
- 9) Suzuki N. Ovarian tissue cryopreservation and transplantation-a new technology of fertility preservation for young female cancer patients, 不妊症診断治療新展開, 2017.
- 10) 鈴木直. 若年がん患者に対する「がん・生殖医療・妊孕性」の現状と課題, 第 33 回長野県病院薬剤師会薬剤師専門講座, 2017.
- 11) 高江正道, 中澤悠, 高橋由妃, 西島千絵, 吉岡伸人, 洞下由記, 近藤春裕, 中村真, 水主川純, 長谷川潤一, 鈴木直. 妊孕性温存治療後、出産に至った乳がん患者の一例 , 第 53 回日本周産期・新生児医学会, 2017.
- 12) 高江正道, 塚田孝祐, 鈴木直. 本邦における卵巣組織凍結・移植と最適卵巣組織選択の試み, 第 35 回日本受精着床学会総会・学術講演会, 2017.
- 13) 西島千絵, 高橋由妃, 吉岡伸人, 杉下陽堂, 高江正道, 洞下由記, 河村和弘, 鈴木直. がん・生殖医療外来における小児・思春期発症患者に関する後方視的検討, 第 35 回日本受精着床学会総会・学術講演会, 2017.
- 14) Suzuki N. Recent Advance on Ovarian Tissue Cryopreservation and Transplantation: Focus on the Technical Part, The Taiwanese Menopause Society 2017 Annual Meeting, 2017.
- 15) 杉下陽堂, 鈴木直. AYA 世代のがん患者の妊孕性温存における実践 , 第 15 回日本臨床腫瘍学会, 2017.
- 16) 鈴木直. Oncofertility の取り組み : 連携体制の構築 婦人科腫瘍医の立場から , 第 59 回日本婦人科腫瘍学会, 2017.

- 17) 竹内淳, 吉岡範人, 横道憲幸, 永澤侑子, 大原樹, 戸澤晃子, 鈴木直. 当院における AYA 世代卵巣悪性腫瘍の12年の動向に関して, 第59回日本婦人科腫瘍学会, 2017.
- 18) 鈴木直. 小児、思春期・若年世代がん患者に対する妊孕性温存の診療 がん・生殖医療を实践するには?, 北陸 Oncology Phamacist 研究会第7回学術講演会, 2017.
- 19) 高江正道, 鈴木直. 妊孕性温存治療の最前線, JSAWI2017, 2017.
- 20) 鈴木直. がん・生殖医療の現状と今後の展望～卵子・卵巣凍結を含めて～, 第16回生殖バイオロジー東京シンポジウム, 2017.
- 21) 鈴木直. 小児、思春期・若年がん患者に対する妊孕性温存の实践 その適応は?, 第14回三島圏域がん研究会, 2017.
- 22) Suzuki N. Current status of fertility preservation as a cancer survivorship in Japan, The 9th Korea-Japan ART Conference, 2017.
- 23) Suzuki N. Recent topics of ovarian tissue cryopreservation and transplantation, The 2nd Shanghai Forum for Fertility Preservation and Symposium and Workshop of Asian Society for Fertility Preservation (ASFP), 2017.
- 24) 杉下陽堂, 佐藤匠, 川原泰, 澤勉, 小松弘英, 鈴木直. 液体窒素内で動作可能な RFID タグを活用した卵巣凍結組織凍結保存管理システムの開発, 第20回日本 IVF 学会学術集会, 2017.
- 25) 鈴木直. がん・生殖医療最前線, 第20回日本 IVF 学会学術集会, 2017.
- 26) 鈴木直. がんと生殖に関する最近の話題 小児思春期・若年がん患者のがんサバイバーシップ向上を志向して, 第1回三重県がん生殖医療研究会, 2017.
- 27) 鈴木直. がん・生殖医療専門心理士養成講座, 日本生殖心理学会認定資格養成講座, 2017.
- 28) 鈴木直. 小児、思春期・若年がん患者に対する妊孕性温存法～がん・生殖医療の实践に向けて～, がん治療と妊娠学術講演会, 2017.
- 29) Suzuki N. Recent topics on ovarian tissue cryopreservation and transplantation, The 11th Congress of the Pacific Society for Reproductive Medicine (PSRM2017), 2017.
- 30) Sugishita Y, Suzuki Y, Nishijima C, Yoshioka N, Takae S, Horage Y, Moy F, Oktay K H, Suzuki N. Tissue recovery and in vitro maturation of immature oocytes as a fertility preservation strategy for tandem ovarian, oocyte, embryo and cryopreservation, The 11th Congress of the Pacific Society for Reproductive Medicine (PSRM2017), 2017.
- 31) Haino T, Kasahara Y, Shiraishi E, Kamoshita K, Sugishita Y, Suzuki N, Okamoto A. A case report: Controlled ovarian stimulation after ovarian tissue cryopreservation by vitrification for patient of polycystic ovary syndrome, The 11th Congress of the Pacific Society for Reproductive Medicine (PSRM2017), 2017.
- 32) 鈴木直. がん医療における小児、思春

- 期・若年がん患者の妊孕性温存をめぐる問題 がん・生殖医療を实践するために, 第 30 回日本サイコオンコロジー学会総会 第 23 回日本臨床死生学会 合同大会, 2017.
- 33) 湯村寧, 太田邦明, 岩本晃明, 岡田弘, 辻村晃, 北澤正文, 鈴木達也, 柿沼敏行, 高江正道, 鈴木直. 我が国における精子凍結施行施設へのアンケート実態調査(厚生労働省調査研究より), 第 55 回日本癌治療学会学術集会, 2017.
- 34) 西島千絵, 鈴木由妃, 吉岡伸人, 杉下陽堂, 高江正道, 洞下由記, 津川浩一郎, 鈴木直. 若年乳がん患者 348 名における、がん・生殖医療に関する後方視的検討, 第 55 回日本癌治療学会学術集会, 2017.
- 35) 湯村寧, 辻村晃, 岡田弘, 太田邦明, 北澤正文, 鈴木達也, 柿沼敏行, 岩本晃明, 高江正道, 鈴木直. 我が国における 2015 年度の抗がん剤治療前の精子凍結患者数調査(厚労省調査研究より), 第 55 回日本癌治療学会学術集会, 2017.
- 36) 湯村寧, 太田邦明, 岩本晃明, 岡田弘, 辻村晃, 柿沼敏行, 北澤正文, 鈴木達也, 渡邊知映, 高江正道, 鈴木直. 血液内科施設への精子凍結に関するアンケート調査結果(厚労省調査結果より), 第 55 回日本癌治療学会学術集会, 2017.
- 37) 鈴木直. AYA 世代がん患者に対する生殖機能温存の現状と問題点, 第 55 回日本癌治療学会学術集会, 2017.
- 38) Suzuki N. Current topics on ovarian tissue cryopreservation and transplantation as a fertility preservation for the young cancer patient, New York Medical College School of Medicine Department of Physiology Seminar, 2017.
- 39) 鈴木直. 日本癌治療学会ガイドラインの概要, がん・生殖医療の現状と課題 ~ 医療連携の全国展開に向けて ~, 2017.
- 40) 鈴木直. 小児血液・がん患者に対する卵巣組織凍結・移植に関する最近の知見, 第 59 回日本小児血液・がん学会学術集会, 2017.
- 41) 鈴木直. 若年乳癌患者に対する妊孕性温存の診療-がん・生殖医療の最新トピックス, 第 27 回日本乳癌検診学会学術総会, 2017.
- 42) Sugimoto K, Anami R, Shiraishi E, Sugishita Y, Shirai C, Suzuki N. A questionnaire study of awareness of the foster care system and adoption for the young cancer survivor in Japan, The 2017 Oncofertility Conference, 2017.
- 43) 湯村寧, 辻村晃, 岡田弘, 太田邦明, 北澤正文, 鈴木達也, 柿沼敏行, 渡邊知映, 高江正道, 鈴木直, 岩本晃明. 若年がん患者に対するがん・生殖医療(妊孕性温存治療)の有効性に関する調査研究 血液内科施設への精子凍結に関するアンケート調査結果, 第 62 回日本生殖医学会学術講演会, 2017.
- 44) 湯村寧, 辻村晃, 岡田弘, 太田邦明, 北澤正文, 鈴木達也, 柿沼敏行, 高江正道, 鈴木直, 岩本晃明. 若年がん患者に対するがん・生殖医療(妊孕性温存治療)の有効性に関する調査研究 我が国の癌治療前精子凍結患者数調査, 第 62 回日本生殖医学会学術講演会, 2017.

- 45) 白石絵莉子, 杉本公平, 笠原佑太, 鴨下桂子, 拝野貴之, 鈴木直, 岡本愛光. がん・生殖医療における特別養子縁組に対する認識調査, 第 62 回日本生殖医学会学術講演会, 2017.
- 46) 太田邦明, 湯村寧, 高江正道, 鈴木達也, 柿沼敏行, 北澤正文, 辻村晃, 岡田弘, 岩本晃明, 鈴木直. 我が国における,がん患者に対する精子凍結施設の意識ならびに精子凍結ネットワークの調査(厚生労働省子ども・子育て支援推進調査研究事業より), 第 62 回日本生殖医学会学術講演会, 2017.
- 47) 太田邦明, 湯村寧, 高江正道, 鈴木達也, 柿沼敏行, 北澤正文, 辻村晃, 岡田弘, 岩本晃明, 鈴木直. 我が国における精子凍結施行施設へのアンケート実態調査(厚生労働省子ども・子育て支援推進調査研究事業より), 第 62 回日本生殖医学会学術講演会, 2017.
- 48) 小泉智恵, 奈良和子, 宮川智子, 杉浦美里, 平山史朗, 小池眞規子, 加藤恵一, 藪内晶子, 高井泰, 古井辰郎, 木村文則, 山中章義, 川井清考, 太田邦明, 桑原章, 湯村寧, 高江正道, 鈴木直. 妊孕性温存診療における心理社会的サポート体制の実態と医療経済的試算, 第 62 回日本生殖医学会学術講演会, 2017.
- 49) 高江正道, 塚田孝祐, 岡本直樹, 佐藤可野, 鈴木直. 光干渉断層計(Optical Coherence Tomography)を用いた非侵襲的原始卵胞検出による効率的な卵巣組織移植片選択の試み, 第 62 回日本生殖医学会学術講演会, 2017.
- 50) 高江正道, 藪内晶子, 渡邊知映, 奈良和子, 小泉智恵, 川井清考, 太田邦明, 湯村寧, 加藤恵一, 木村文則, 古井辰郎, 桑原章, 高井泰, 苛原稔, 鈴木直. 本邦における医学的適応による未受精卵子および卵巣組織の採取・凍結・保存に関する実態調査 平成 28 年度厚生労働省子ども・子育て支援推進調査研究事業の調査結果から, 第 62 回日本生殖医学会学術講演会, 2017.
- 51) Suzuki N. Vitrification, The 5th World Congress of the International Society for Fertility Preservation, 2017.
- 52) Kojima Y, Nishijima C, Seido T, Akiyama K, Sugishita Y, Horage Y, Suzuki N, Tsugawa K. Fertility preservation among breast cancer survivors in reproductive age-a single institute experience, The 5th World Congress of the International Society for Fertility Preservation, 2017.
- 53) 鈴木直. 小児・AYA 世代がん患者に対する妊孕性温存治療の現状～がん・生殖医療における薬剤師の関りは?～, 第 286 回病院薬学研修会, 2017.
- 54) Suzuki N. Ovarian tissue cryopreservation: value in the fertility preservation, The Meeting of Chinese Society of Fertility Preservation, 2017.
- 55) 鈴木直. 若年がん患者における将来の妊娠・出産を考えた女性医療の現状 がん・生殖医療の実践, 2017 年度女性医療マネジメント研究会, 2017.
- 56) 鈴木直. 小児・思春期・若年がん患者に対する妊孕性温存に関する診療 がん・生殖医療の実践に向けて,

- 妊婦・授乳婦および胎児・乳児と薬物を考える研修会，2017.
- 57) 洞下由記，西島千絵，鈴木由妃，吉岡伸人，杉下陽堂，高江正道，鈴木直．当院におけるがん・生殖医療外来の7年間の試み，第134回関東連合産科婦人科学会学術集会，2017.
- 58) 高江正道，鈴木直．押さえておきたいがんと妊孕性，第10回埼玉がん薬物療法講演会，2017.
- 59) 高江正道，鈴木直．小児患者における妊孕性温存治療，小児がんセミナー，2017.
- 60) 鈴木直．小児・思春期・若年がん患者に対する妊孕性温存の診療について がん・生殖医療の今後の課題，第4回福岡がん・生殖医療症例検討会，2018.
- 61) 鈴木直．小児・AYA世代がん患者に対する妊孕性温存療法の現状について，山梨婦人科がん治療セミナー，2018.
- 62) 鈴木直．小児・AYA世代がん患者に対する妊孕性温存の診療の実際 がん・生殖医療連携のネットワーク構築の必要性，第36回小児内分泌・代謝研究会信濃町フォーラム，2018.
- 63) 渡邊知映，高江正道，鈴木直．がん診療連携拠点病院におけるがん患者の妊孕性温存に関する情報提供と妊孕性温存治療の提供に関する実態調査，第8回日本がん・生殖医療学会学術集会，2018.
- 64) 洞下由記，西島千絵，澤田紫乃，鈴木由妃，吉岡伸人，杉下陽堂，高江正道，鈴木直．当院におけるがん・生殖医療外来の7年間の試み，第8回日本がん・生殖医療学会学術集会，2018.
- 65) 杉本公平，阿南里恵，鈴木直．がん・サバイバーに対する里親・養子縁組の実態調査報告，第8回日本がん・生殖医療学会学術集会，2018.
- 66) 小島康幸，西島千絵，秋山恭子，杉下陽堂，高江正道，洞下由記，鈴木直，津川浩一郎．乳がんサバイバーにおける当院でのがん生殖医療の取り組み，第8回日本がん・生殖医療学会学術集会，2018.
- 67) 杉下陽堂，佐藤匠，澤田紫乃，上川篤志，澤勉，淡路正明，小松弘英，鈴木直．液体窒素(-196℃)内で動作可能なRFIDタグを活用した長期卵巣組織凍結保存管理の開発，第8回日本がん・生殖医療学会学術集会，2018.
- 68) 慶野大，森鉄也，松岡明希菜，大山亮，木下明俊，高江正道，鈴木直．小児患者に対する妊孕性温存のための卵巣組織凍結保存の当院での現状，第8回日本がん・生殖医療学会学術集会，2018.
- 69) 太田邦明，高江正道，西島千絵，田村光，白石悟，鈴木直．病診連携を活かした迅速的卵巣組織凍結に成功した乳がん患者の1例～特殊技術を要する"がん生殖医療"の病診連携を考える～，第8回日本がん・生殖医療学会学術集会，2018.
- 70) 鈴木直．小児・AYA世代がん患者に対する妊孕性温存の診療 がん・生殖医療連携ネットワーク構築に関して，第1回茨城県がん生殖医療ネットワークシンポジウム，2018.
- 71) 鈴木直．小児・AYA世代がん患者に対する妊孕性温存に関して 本邦におけるがん・生殖医療の現状と課題，第8回滋賀県生殖医療懇話会，2018.

- 72) 鈴木直. 小児・AYA 世代がん患者に対する妊孕性温存の診療～がん・生殖医療を实践するには～, 地域がん診療拠点病院講演会, 2018.
- 73) 鈴木直. 小児・AYA 世代がん患者に対する妊孕性温存の診療 がん・生殖医療の实践, 第 13 回日本レーザーリプロダクション学会, 2018.
- 74) 小泉智恵 2017 若年成人男性がん患者の精子凍結保存とサイコソーシャルケア、心理カウンセリング 第 6 2 回日本生殖医学会学術講演会・第 2 0 回男性不妊フォーラム・講演者. 20 17/11/16、山口県.
- 75) Nakamura K, Takae S, Sato T, Abe Y, Suzuki Y, Sawada S, Iwahata H, Sugishita Y, Horage Y, Suzuki N. The clinical potential of "random start" ovarian stimulation of fertility preservation for Japanese breast cancer patients, The 8th Congress of Asia Pacific Initiative on Reproduction; 2018.
- 76) Takae S, Tsukada K, Sato Y, Okamoto N, Nishijima C, Suzuki Y, Yoshioka N, Sugishita Y, Horage Y, Kondo H, Kawamura K, Suzuki N. Quantification and localization of primordial follicle using optical coherence tomography intended for investigating effective ovarian tissue transplantation, The 8th Congress of the Asia Pacific Initiative on Reproduction; 2018.
- 77) 鈴木直. 小児, 思春期・若年世代がん患者に対する妊孕性温存診療の進歩と発展, 第 121 回日本小児科学会学術集会; 2018.
- 78) 湯村寧, 太田邦明, 岩本晃明, 岡田弘, 辻村晃, 北澤正文, 鈴木達也, 柿沼敏行, 高江正道, 鈴木直. 我が国における精子凍結施行施設へのアンケート実態調査(厚生労働省調査研究より), 第 106 回日本泌尿器科学会総会; 2018.
- 79) 湯村寧, 辻村晃, 岡田弘, 太田邦明, 北澤正文, 鈴木達也, 柿沼敏行, 高江正道, 岩本晃明, 鈴木直. 我が国における 2015 年度の抗がん剤治療前の精子凍結患者数調査(厚労省調査研究より), 第 106 回日本泌尿器科学会総会; 2018.
- 80) 湯村寧, 岡田弘, 太田邦明, 岩本晃明, 柿沼敏行, 北澤正文, 鈴木達也, 渡邊知映, 高江正道, 辻村晃, 鈴木直. 血液内科施設への精子凍結に関するアンケート調査結果(厚労省調査研究より), 第 106 回日本泌尿器科学会総会; 2018.
- 81) 三善陽子, 安田紀恵, 宮下恵実子, 大庭真梨, 藤崎弘之, 加藤雅志, 清水千佳子, 加藤友康, 鈴木直, 佐合治彦, 岡田弘, 松本公一, 瀧本哲也, 大園恵一. 小児がん経験者(CCS)女性の性腺機能と妊孕性に関するコホート研究, 第 91 回日本内分泌学会学術総会; 2018.
- 82) Suzuki N. Recent topics on ovarian tissue cryopreservation and transplantation as a fertility preservation treatment, The International Symposium on All-round Fertility Assessment and New Technologies for Fertility Preservation; 2018.
- 83) 鈴木直. がん・生殖医療における妊孕性温存はどこまで可能か その適応は?, 第 70 回日本産科婦人科学会学

- 術講演会；2018.
- 84) Takae S, Tsukada K, Sato Y, Okamoto N, Nishijima C, Yoshioka N, Sugishita Y, Horage Y, Kondo H, Junichi H, Kawamura K, Suzuki N. Quantification and localization of primordial follicle using optical coherence tomography intended for investigating effective ovarian tissue transplantation , 第 70 回日本産科婦人科学会学術講演会；2018.
- 85) Harada M, Sanada Y, Kanatani M, Izumi G, Hirata T, Suzuki N, Morishige K, Irahara M, Aoki D, Osuga Y, Fujii T. A National Survey of Cryopreservation of Embryos, Oocytes, and Ovarian Tissue for Cancer Patients, 第 70 回日本産科婦人科学会学術講演会；2018.
- 86) 中村健太郎, 高江正道, 西島千絵, 阿部恭子, 遠藤拓, 鈴木由妃, 岩端秀之, 吉岡伸人, 杉下陽堂, 洞下由記, 長谷川潤一, 鈴木直. 乳がん患者の妊孕性温存を目的とした Random start 法による採卵成績の検討, 第 70 回日本産科婦人科学会学術講演会；2018.
- 87) 杉下陽堂, 川原泰, 澤田紫乃, 鈴木由妃, 阿部恭子, 上川篤志, 鈴木直. 卵巢組織凍結法の有用性に関する検証 緩慢凍結法とガラス化凍結法の比較, 第 70 回日本産科婦人科学会学術講演会；2018.
- 88) 阿部恭子, 杉下陽堂, 西島千絵, 五十嵐豪, 長谷川潤一, 鈴木直. 透過型電子顕微鏡による評価を利用したカニクイザルを用いた卵巢組織凍結閉鎖型デバイスの開発, 第 70 回日本産科婦人科学会学術講演会；2018.
- 89) Nakamura K, Takae S, Suzuki Y, Sawada S, Iwahata H, Sugishita Y, Horage Y, Suzuki N. The clinical potential of "random start" ovarian stimulation of fertility preservation for Japanese breast cancer patients, European Society of Human Reproduction and Embryology 2018; 2018.
- 90) Takae S, Tsukada K, Sato Y, Okamoto N, Maeda I, Motani Y, Suzuki Y, Sawada S, Iwahata H, Nishijima C, Yoshioka N, Sugishita Y, Horage Y, Suzuki N. Preliminary human application of optical coherence tomography for quantification and localization of primordial follicles aimed at effective ovarian tissue transplantation , European Society of Human Reproduction and Embryology 2018; 2018.
- 91) Sugishita Y, Suzuki N. Development of ovarian tissue vitrification method by using closed device, The 55th Annual Meeting of the Society for Cryobiology; 2018.
- 92) 中山口バート, 遠藤誠, 吉岡範人, 原田美由紀, 川井章, 鈴木直, 大須賀穰. 悪性骨・軟部腫瘍治療施設におけるがん・生殖医療連携(妊孕性温存治療)に関する実態調査, 第 51 回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会; 2018.
- 93) Suzuki N. Cryopreservation of ovarian, The 3rd Oriental Congress of Obstetrics and Gynecology; 2018.
- 94) 鈴木直. 本邦におけるがん・生殖医療

- の現状と課題 がんサバイバーシップ向上を志向して，第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会；2018.
- 95) 澤田紫乃，杉下陽堂，佐藤匠，古山紗也子，柏木恵，中嶋真理子，中村健太郎，上嶋佳織，鈴木由妃，岩端秀之，高江正道，洞下由記，鈴木直 . 当院がん・生殖医療外来における精子凍結の現状，第 36 回日本受精着床学会総会・学術講演会；2018.
- 96) 杉下陽堂，鈴木直 . 卵巣組織凍結技術の現状～緩慢凍結法とVitrification法の比較～，第 36 回日本受精着床学会総会・学術講演会；2018.
- 97) 古山紗也子，杉下陽堂，柏木恵，中嶋真理子，佐藤匠，中村健太郎，阿部恭子，上嶋佳織，鈴木由妃，澤田紫乃，岩端秀之，高江正道，洞下由記，鈴木直 . 妊孕性温存治療における IVF 周期に得られた未成熟卵子 IV M-ICSI 後、胚発育成績の検討，第 36 回日本受精着床学会総会・学術講演会；2018.
- 98) 鈴木直 . がん・生殖医療の世界トレンドと日本の現状，第 58 回日本産科婦人科内視鏡学会；2018.
- 99) 高江正道，鈴木直 . 小児・思春期患者における卵巣組織凍結(生殖外科としての基本と Pitfall )，第 58 回日本産科婦人科内視鏡学会；2018.
- 100) Suzuki N. Recent advance on ovarian tissue cryopreservation and transplantation as a fertility preservation therapy , International Conference on Human Fertility Preservation and Advanced Reproductive Medicine; 2018.
- 101) 洞下由記，白石絵莉子，上嶋佳織，澤田紫乃，鈴木由妃，杉下陽堂，高江正道，鈴木直 . がん治療前の妊孕性温存により妊娠成立した乳がんの一例 ，第 3 回日本がんサポーターブケア学会学術集会；2018.
- 102) Suzuki N. Fertility preservation for the CAYA cancer patients, 12th the Forum of Efficient and Safe Assisted Reproductive Technology; 2018.
- 103) Sugishita Y, Suzuki N. Development Of Ovarian Tissue Vitrification Method By Using CLOSED Device ~ The method of St. Marianna University~ , 12th the Forum of Efficient and Safe Assisted Reproductive Technology; 2018.
- 104) 柏木恵，杉下陽堂，古山紗也子，中村健太郎，上嶋佳織，鈴木由妃，澤田紫乃，高江正道，洞下由記，鈴木直 . ホルモン受容体陽性乳癌患者(Luminal)に対するアロマターゼ阻害薬併用調節性卵巣刺激時の卵子成熟に関する検討，第 63 回日本生殖医学会学術講演会・総会；2018.
- 105) 高江正道，古山紗也子，柏木恵，中村健太郎，上嶋佳織，阿部恭子，遠藤拓，白石絵莉子，鈴木由妃，澤田紫乃，岩端秀之，杉下陽堂，洞下由記，鈴木直 . 当院における小児・思春期世代患者に対する卵巣組織凍結の取り組み，第 63 回日本生殖医学会学術講演会・総会；2018.
- 106) 杉下陽堂，中嶋真理子，高江正道，洞下由記，鈴木直 . 好孕性温存治療における卵巣組織凍結時コンバインドアプローチによる卵子および胚凍結の検討，第 63 回日本生殖医学会学術講演会・総会；2018.
- 107) 鈴木由妃，杉下陽堂，高江正道，洞



- 下由記, 鈴木直. ホルモンコントロールにより生児を得た化学療法誘発性無月経患者の2症例, 第63回日本生殖医学会学術講演会・総会; 2018.
- 108) 岩端秀之, So-Youm Kim, 岩端由里子, 鈴木直, Teresa K. Woodruff. 抗がん剤の性腺毒性に対する甲状腺ホルモンによる卵巣保護に関する研究, 第60回日本婦人科腫瘍学会学術講演会; 2018.
- 109) Sugishita Y, Suzuki N. Another aspect of Ovarian Tissue Freezing, Transplantation and Storage, Fertility Preservation 'Technique & Technology, 2nd Congress of the ASFP & 5th Annual Conference of FPSI; 2018.
- 110) Sugishita Y, Suzuki N. Ovarian Cortex Vitrification and warming Bench top Concept and techniques, Fertility Preservation 'Technique & Technology, 2nd Congress of the ASFP & 5th Annual Conference of FPSI; 2018.
- 111) Takae S, Suzuki N. Improving post-transplantation success of ovarian tissue, Fertility Preservation 'Technique & Technology, 2nd Congress of the ASFP & 5th Annual Conference of FPSI; 2018.
- 112) Takae S, Suzuki N. Ovarian Transplantation, Fertility Preservation 'Technique & Technology, 2nd Congress of the ASFP & 5th Annual Conference of FPSI; 2018.
- 113) Nakamura K, Takae S, Uwajima K, Shiraishi E, Suzuki Y, Sawada S, Iwahata H, Sugishita Y, Horage Y, Suzuki N. The availability of 'RAM DOM START' ovarian stimulation for Japanese Breast Cancer patients, Fertility Preservation 'Technique & Technology, 2nd Congress of the ASFP & 5th Annual Conference of FPSI; 2018.
- 114) Suzuki N. Ovarian Tissue Cryopreservation and Transplantation - Is this procedure still considered to be experimental or not?, Fertility Preservation 'Technique & Technology, 2nd Congress of the ASFP & 5th Annual Conference of FPSI; 2018.
- 115) Sugishita Y, Tai Kawahara, Enes Taylan, Kutluk Oktay, Suzuki N. Ovarian Tissue Vitrification Using Open and Closed Devices, and Thawing Procedure, ASRM Annual Meeting 2018; 2018.
- 116) 高江正道, 鈴木直. 若年がんと妊孕性温存, 第33回日本女性医学会学術集会; 2018.
- 117) 杉下陽堂, 澤田紫乃, 上嶋佳織, 鈴木由妃, 永澤侑子, 五十嵐豪, 戸澤晃子, 鈴木直. 当院における若年子宮頸がん患者の治療後ヘルスケアの現状, 第33回日本女性医学会学術集会; 2018.
- 118) Koizumi T, Suzuki Y, Sugishita Y, Nara K, Miyagawa T, Nakajima M, Sugimoto K, Furui T, Takai T, Matsumoto H, Yamauchi H, Ohno S, Kataoka A, Kawai K, Suzuki N. The effect of Oncofertility! Psycho-Education And Couple Enrichment (O!PEACE) brief psychotherapy on psychiatric symptoms, stress coping, and marital relationship: multic

- nter randomized controlled trial for the breast cancer patients, 2018 Oncofertility Conference; 2018.
- 119) Furui T, Takai Y, Kimura F, Kitajima M, Nakatsuka M, Morishige K, Suzuki N. Fertility preservation in adolescent and young adult cancer patients: nationwide survey on oncofertility in Japan, 2018 Oncofertility Conference; 2018.
- 120) Ota K, Takae S, Takahashi T, Shiraishi S, Suzuki N, Mizunuma H. A case of ovarian tissue freezing in a woman with breast cancer through linkage from general hospital to onco-fertility center in Japan, 2018 Oncofertility Conference; 2018.
- 121) Iwahata H, Horage Y, Shiraishi E, Iwahata Y, Suzuki Y, Sawada S, Sugishita Y, Takae S, Okamoto A, Suzuki N. The 8 year-experience of Oncofertility in our hospital in Japan, 2018 Oncofertility Conference; 2018.
- 122) Shiraishi E, Takae S, Iwahata Y, Uwajima K, Suzuki Y, Sawada S, Iwahata H, Sugishita Y, Horage Y, Okamoto A, Suzuki N. Approach to fertility preservation for children and adolescent patients in our hospital, 2018 Oncofertility Conference; 2018.
- 123) 高江正道, 鈴木直. 小児・AYA世代がん患者に対する生殖医療, 第60回小児血液・がん学会学術集会; 2018.
- 124) 鈴木直. 本邦における小児、思春期・若年世代がん患者に対する妊孕性温存の現状と課題, 第28回日本医療薬学会年会; 2018.
- 125) 美馬康幸, 洞下由記, 上嶋佳織, 鈴木由妃, 澤田紫乃, 白石絵莉子, 杉下陽堂, 高江正道, 鈴木直. 妊孕性温存治療により妊娠した4例, 第9回日本がん・生殖医療学会学術集会; 2019.
- 126) 戸澤晃子, 鈴木直. 子宮頸がんの現状と予防～AYA世代に伝えなければいけないこと～, 第9回日本がん・生殖医療学会学術集会; 2019.
- 127) 伊藤薫, 岩端由里子, 高江正道, 上嶋佳織, 白石絵莉子, 岩端秀之, 杉下陽堂, 洞下由記, 鈴木直. 自験例をもとにした卵巣組織凍結の経年的変化に関する検証, 第9回日本がん・生殖医療学会学術集会; 2019.
- 128) 洞下由記, 白石絵莉子, 上嶋佳織, 鈴木由妃, 澤田紫乃, 岩端秀之, 杉下陽堂, 高江正道, 鈴木直. 治療後乳がん患者に対する生殖医療による妊娠率の検討, 第9回日本がん・生殖医療学会学術集会; 2019.
- 129) 小泉智恵, 吹谷和代, 奈良和子, 宮川智子, 橋本和子, 杉下陽堂, 鈴木直. 若年女性癌患者に対する心理社会的支援の介入効果: システムティック・レビューとRESPECT試験プロトコール, 第9回日本がん・生殖医療学会学術集会; 2019.
- 130) 鈴木直. AYAがんの医療と生殖機能温存に関する支援, 第1回AYAがんの医療と支援のあり方研究会学術集会; 2019.
- 131) 秋山恭子, 小島康幸, 山本志奈子, 山田陽子, 白石絵莉子, 杉下陽堂, 高江正道, 洞下由記, 津川浩一郎, 鈴木直. 乳癌患者の妊孕性温存につ

- いての取り組み, 第1回AYAがんの医療と支援のあり方研究会学術集会; 2019.
- 132) 洞下由記, 白石絵莉子, 岩端由里子, 上嶋佳織, 鈴木由妃, 澤田紫乃, 久慈志保, 出浦伊万里, 杉下陽堂, 高江正道, 鈴木直. がん・生殖医療における妊孕性温存治療の現状と課題, 第1回AYAがんの医療と支援のあり方研究会学術集会; 2019.
- 133) 古井辰郎, 高井泰, 木村文則, 北島道夫, 中塚幹也, 森重健一郎, 樋口明子, 清水千佳子, 小澤美和, 小原明, 多田羅竜平, 堀部敬三, 鈴木直. AYA世代がん経験者の生殖機能に関する情報提供の実態:総合的なAYA世代がん対策のあり方に関する研究班調査結果より, 第1回AYAがんの医療と支援のあり方研究会学術集会; 2019.
- 134) 小泉智恵, 鈴木由妃, 杉下陽堂, 奈良和子, 宮川智子, 杉本公平, 中島美佐子, 鈴木直. 乳がん女性とその夫の妊孕性温存に関する心理教育プログラム(O!PEACE)の効果評価:多施設合同によるランダム化比較試験, 第16回日本生殖心理学会・学術集会; 2019.
- 135) Suzuki N. Overview of Global Fertility Preservation for the CAYA cancer patients, Chulabhorn Hospital Oncofertility Meeting 2019; 2019.
- 136) Suzuki N. Overview of global fertility preservation, 23rd Thai Society for Reproductive Medicine 2019; 2019.
- 137) 小泉智恵・吹谷和代・奈良和子・宮川智子・橋本知子・杉下陽堂・鈴木直 若年女性がん患者に対する心理社会的支援の介入効果:システムティック・レビューとRESPECT試験プロトコール 日本がん・生殖医療学会第10回学術集会、2019/2/10、岐阜
- 138) 小泉智恵・鈴木由妃・杉下陽堂・奈良和子・宮川智子・杉本公平・中島美佐子・鈴木直 乳がん女性とその夫の妊孕性温存に関する心理教育プログラム(O!PEACE)の効果評価:多施設合同によるランダム化比較試験 日本生殖心理学会第16回学術集会、2019/2/24、東京
- 139) 宮川智子、奈良和子、小石川比良来、川井清考 総合病院におけるがん・生殖医療への取り組み 第23回千葉県総合病院精神科研究会@千葉 2018.4.14
- 140) 奈良和子 がん・生殖医療における心理支援 第5回京滋がん薬物療法懇話会 2018.5.25
- 141) 奈良和子、宮川智子 がん相談支援センター 相談員研修 妊孕性がん相談支援センター 相談員研修 (Eラーニング収録)@東京 2018.6.22
- 142) 川井清考 乳癌患者での妊孕性温存:卵子・胚・卵巣組織凍結 関東産婦人科乳腺医学会@東京 2018.8.5
- 143) 川井清考 がんと妊娠 オンライン相談の可能性を考える ジャパンキヤンサーフォーラム@東京 2018.8.12
- 144) 奈良和子 宮川智子 若年がん患者のがん・生殖医療と心理支援 南関東FRT第4回研修会@東京 2018.8.25
- 145) 奈良和子 AYA世代のいろは がん妊孕性 がん相談員としての支援は

- 地域相談支援フォーラム@千葉 2  
018.11.10
- 146) 宮川智子 がん生殖医療に関わる心理士の立場から 鎌倉保健福祉事務所研修会@神奈川 2018.11.10
- 147) 宮川 智子、奈良 和子、小石川 比良来、川井 清考 総合病院におけるがん・生殖医療への心理士としての取り組み 第31回日本総合病院精神医学会@東京 2018.11.30-12.1
- 148) 奈良和子 妊孕性 繋ぐ、そして支援する
- 149) 千葉県がん診療連携協議会相談支援専門部会 相談員研修会@千葉 2019.3.23
- 150) Takenaka M, Furui T, Yamamoto A, Terazawa K, Morishige K-I: The activity of oncofertility in Gifu University Hospital. Asian Society for Fertility Preservation (New Delhi, India) Sep.22-23, 2018
- 151) Furui T, Takai Y, Kimura F, Kitajima M, Nakatsuka M, Morishige K-I, Suzuki N: Fertility preservation in adolescent and young adult cancer patients: nationwide survey on onco-fertility in Japan. 2018 Onco-fertility. Conference(Chicago, USA) Nov.13-15, 2018
- 152) 寺澤恵子、古井辰郎、牧野弘、菊野享子、竹中基記、山本晃央、岩田桜子、桑原美紀、棚橋昌代、森重健一郎：がん生殖患者の妊孕性温存におけるランダムスタートで採卵した症例．第8回日本がん・生殖医療学会学術集会(東京)H30.2.11
- 153) 菊野享子、竹中基記、寺澤恵子、牧野弘、古井辰郎、森重健一郎：当院でのAYA世代がん患者に対する腹腔鏡下卵巣摘出による卵巣組織凍結の現状．第8回日本がん・生殖医療学会学術集会(東京)H30.2.11
- 154) 寺澤恵子、古井辰郎、牧野 弘、竹中基記、菊野享子、森重健一郎：若年がん患者の妊孕性温存に関する選択行動．第70回日本産科婦人科学会学術講演会(仙台)H30.5.10-13
- 155) 菊野享子、竹中基記、古井辰郎、森重健一郎：生殖医療を契機に発症し、外科的治療を要した卵管卵巣腫瘍の5症例．第35回日本産婦人科感染症学会学術集会(岐阜)H30.5.27
- 156) 山本志緒理、寺澤恵子、古井辰郎、菊野享子、竹中基記、森重健一郎：乳がん患者の妊孕性温存における黄体期開始のランダムスタートで採卵した症例．第40回中部生殖医学会学術集会(名古屋)H30.6.9
- 157) 菊野享子、山本志緒理、竹中基記、古井辰郎、森重健一郎：生殖医療を契機に発症し腹腔鏡下に治療し得た卵管卵巣腫瘍の4症例．第58回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会(松江)H30.8.2-4
- 158) 寺澤恵子、古井辰郎、竹中基記、山本志緒理、菊野享子、森重健一郎：当院でのがん患者に対するランダムスタート法の経験．第63回日本生殖医学学術講演会(旭川)H30.9.6-7
- 159) 高井泰：小児、思春期・若年がん患者に対する妊孕性温存に関する診療ガイドライン 小児に対するがん・生殖医療における倫理的問題．第121回日本小児科学会学術集会，福岡，4月20日，2018
- 160) 高井泰：若年悪性腫瘍患者に対する妊孕性温存 か？ん・生殖医療 update．第113回埼玉医科大学国際医療セン

- ター包括的がんセンター教育カンファレンス, 日高, 4月23日, 2018
- 161) 高井泰: 若年悪性腫瘍患者に対する妊孕性温存 か?ん・生殖医療 update. 第5回京滋がん薬物療法懇話会, 京都, 5月25日, 2018
- 162) 高井泰: 若年血液疾患患者に対する妊孕性の維持 か?ん・生殖医療 update. がん化学療法における生殖医療を語る会, 東京, 6月1日, 2018
- 163) 高井泰: 小児悪性腫瘍患者に対する妊孕性温存 か?ん・生殖医療 update. 小児CML Forum in Nagoya, 名古屋, 6月8日, 2018
- 164) 高井泰: わが国のがん・生殖医療/妊孕性温存の現状と課題 量的・質的均てん化への取り組み. 第43回日本外科系連合学会学術集会, 東京, 6月23日, 2018
- 165) 高井泰: 小児がん患者に対する妊孕性温存 か?ん・生殖医療 update. 埼玉県がん妊孕性温存治療医療従事者研修会, さいたま, 8月18日, 2018
- 166) 高井泰: がん患者に対する妊孕性温存 か?ん・生殖医療 update. 埼玉県がん妊孕性温存治療医療従事者研修会, 北足立郡, 8月22日, 2018
- 167) 高井泰: 妊孕性部会 Year in Review -がん・生殖医療の現状と課題-. 第3回日本がんサポーターブケア学会学術集会, 福岡, 9月1日, 2018
- 168) Takai Y: Fertility preservation network in Asia - Current status and issues of FP network in Japan -. 2nd Congress of Asian Society for Fertility Preservation & FERTIPROTECT 2018, Delhi, 9月22-23日, 2018
- 169) Shigematsu K, Takai Y, Ichinose S, Itaya Y, Ono Y, Matsunaga S, Saitou M, Baba K, Seki H: Safety management in the oocyte cryopreservation for patients of hematologic disease with severe thrombocytopenia. 2nd Congress of Asian Society for Fertility Preservation & FERTIPROTECT 2018, Delhi, 9月22-23日, 2018
- 170) 高井泰: わが国のがん・生殖医療/妊孕性温存の現状と課題 量的・質的均てん化への取り組み. 第139回近畿産科婦人科学会学術集会, 東京, 10月7日, 2018
- 171) 高井泰: 妊娠の仕組みや不妊治療について基本的なことから解説します. 埼玉県がん妊孕性温存治療 県民向け講演会, さいたま, 11月4日, 2018
- 172) 高井泰: 妊孕性温存医療の実際についてわかりやすく説明します. 埼玉県がん妊孕性温存治療 県民向け講演会, さいたま, 11月4日, 2018
- 173) Takai Y, Shigematsu K, Huang H, Ichinose S, Itaya Y, Saitou M, Aoyama K, Seki H: Oncofertility network in Japan. 2018 Oncofertility Conference, Chicago, 11月13-15日, 2018
- 174) 高井泰: 不育症検査治療の基礎知識. 埼玉県不育症カフェセミナー, さいたま, 11月17日, 2018
- 175) 高井泰: 不妊症の病態と治療 update - 東洋医学をいかに活かすか -. 第37回(公社)全日本鍼灸学会関東支部学術集会, さいたま, 11月25日, 2018
- 176) 高井泰: わが国のがん・生殖医療/妊孕性温存の現状と課題 量的・質的均てん化への取り組み. がん治療と妊

- 娠学術講演会, 前橋, 11月30日, 2018
- 177) 高井泰: がん・生殖医療に関する厚労省班研究の現状など. 第3回埼玉県がん・生殖医療ネットワーク研究会, さいたま, 1月12日, 2019
- 178) 高井泰: がん患者に対する妊孕性温存 がん・生殖医療 update. 埼玉県がん妊孕性温存治療医療従事者研修会, 越谷市, 1月26日, 2019
- 179) 高井泰: 不妊症の検査と治療 update. 埼玉県不妊症カフェセミナー, さいたま, 2月2日, 2019
- 180) 高井泰: 妊孕性温存における登録制度、助成金制度の方向性. 第9回日本がん・生殖医療学会学術集会, 岐阜, 2月10日, 2019
- 181) 高井泰: 血液腫瘍患者の妊孕性温存のための生殖医療の実際. Novartis Hematology Web Seminar, 東京, 3月12日, 2019
- 182) Akemi Kataoka, Tomomi Abe, Misuzu Takeda, Natsue Uehiro, Hidetomo Morizono, Yoshinori Ito, Takayuki Ueno, Shinji Ohno, Pregnancy and treatment outcomes of young patients aged <40 years with node-positive breast cancer. Kyoto Breast Cancer Consensus Conference 2018 International Convention(2018年5月18-19日京都)
- 183) Akemi Kataoka, Misuzu Takeda, Natsue Uehiro, Hidetomo Morizono, Yoshinori Ito, Takayuki Ueno, Shinji Ohno, Only a few young patients aged 40 years with 'high-risk' breast cancer preserved fertility; report from actual survey in a Japanese cancer hospital. 第4回 European School of Oncology-European Society for Medical Oncology (ESO-ESMO) Breast Cancer in Young Women International Conference (2018年10月6-8日スイス・ルガーノ市)
- 184) Fuminori Kimura. How to deal with pregnancy during cancer, Fertility preservation Technique & Technology, Sep 22nd & 23rd 2018, Lalit hotel New Delhi India
- 185) 木村文則. 体外受精における生命倫理について, 平成30年度母体保護法指定医師研修会, 2018年4月15日 ピアザ淡海 大津市
- 186) 木村文則. 生涯研修プログラム 3 不妊症の up to date 慢性子宮内膜炎の病態, 第70回日本産科婦人科学会学術講演会, 2018年5月11日 仙台国際センター 仙台市
- 187) 木村文則. 慢性子宮内膜炎と子宮内膜機能, 第38回 東京生殖医療懇談会, 2018年5月31日 ANA インターコンチネンタルホテル東京 東京
- 188) 木村文則. がんになっても妊娠できるために 滋賀県の取り組み, 滋賀県産婦人科医会公開講座 がんと妊娠, 2018年7月1日 琵琶湖ホテル 大津市
- 189) 木村文則. AYA世代のがん患者の妊孕性温存に関する取り組みについて, 第11回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会, 2018年7月9日 国立がん研究センター 東京
- 190) 木村文則. 慢性子宮内膜炎患者における着床障害とそのメカニズム, シンポジウム 6 着床不全の基礎と臨床, 第36回受精着床学会, 2018年7月27日 幕張メッセ 千葉市

- 191) 木村文則．最新の不妊治療の実際，滋賀県助産師会研修会，2018年9月8日 ピアザ淡海 大津市
- 192) 木村文則．妊孕性への放射線の影響と妊孕性温存，放射線腫瘍学会 小児がん講演会，2018年9月15日 兵庫県立こども病院 神戸市
- 193) 木村文則．子宮内膜症と子宮腺筋症の最新の情報，バイエル研修会，2018年10月3日 メルパルク京都 京都市
- 194) 木村文則．がん経験者の不妊治療，第139回近畿産科婦人科学会学術集会 日本産婦人科医会委員会ワークショップ，2018年10月7日 リーガロイヤルホテル 大阪市
- 195) 木村文則．がん患者の妊孕性温存と滋賀県の取り組み，北信がんプロ金沢医科大学市民公開講座，2018年10月8日 ホテル金沢 金沢市
- 196) 木村文則．滋賀県がん患者の未来の家族応援事業，第80回日本小児科学会滋賀地方部会，2018年10月13日 クサツエストピア 草津市
- 197) 木村文則．慢性子宮内膜炎と不妊，第43回不妊カウンセラー・体外受精コーディネーター養成講座，2018年10月14日 ニッショーホール 東京
- 198) 木村文則．子宮腺筋症の病態と保存的治療，神戸 Endometriosis 研究会，2018年11月17日 TKP 神戸三宮カンファレンスセンター 神戸市
- 199) 木村文則．がんと妊娠，第13回済生会がんセンター公開講座，2018年12月15日 済生会滋賀県病院 栗東市
- 200) 木村文則．造血幹細胞移植患者の妊孕性温存，若手医師・看護師・コメディカルのための小児造血幹細胞移植セミナー，2019年1月19日 名古屋第一赤十字病院 名古屋市
- 201) 木村文則．がん患者の妊孕性に関する現状と滋賀県での取り組み，AYA世代のがん患者の妊孕性に関する研修，2019年2月2日 福井県生活学習館 福井市
- 202) 木村文則．滋賀県での助成状況と課題，第9回 日本がん・生殖医療学会学術集会，シンポジウム「妊孕性温存における登録制度・助成金制度の方向性」，2019年2月10日 じゅろくプラザ 岐阜市
- 203) 木村文則．子宮腺筋症の病態 過多月経を来すメカニズムを中心に，プロゲスチン研究会，2019年2月16日 TKP ガーディアンシティー品川 東京
- 204) 木村文則．子宮腺筋症の病態と保存的治療，子宮内膜症・腺筋症ネットフォーラム，2019年2月18日
- 205) 木村文則．がん・生殖医療と滋賀県の取り組み，第7回関西生殖医学集談会 第51回関西アンドロロジーカンファレンス，2019年2月23日 ハービス PLAZA 大阪市
- 206) 木村文則．慢性子宮内膜炎の病態と治療，岐阜・女性健康週間講演会ランチョンセミナー，2019年3月3日 岐阜商工会議所 岐阜市
- 207) 木村文則．移植の子どもを支える妊孕性温存，第41回日本造血細胞移植学会総会 会長シンポジウム，平成31年3月8日 大阪国際会議場 大阪市
- 208) 木村文則．子宮腺筋症の病態 全国子宮内膜症・腺筋症フォーラム，平成31年3月9日 東京
- 209) 木村文則．慢性子宮内膜炎の病態，埼玉生殖医療懇話会，平成31年3月

- 30日 さいたま市
- 210) 第105回日本泌尿器科学会総会「血液内科に対する治療前精子凍結のアンケート調査」下村之人、岡田弘ら、2017.4.22@鹿児島
- 211) 第105回日本泌尿器科学会総会「小児及びAYA世代の男性がん患者に対する妊孕性温存と対策」小堀善友、岡田弘、2017.4.23@鹿児島
- 212) 第26回日本小児泌尿器科学会総会「小児がん患者の妊孕性温存を目指した理想的な精巣組織凍結法の開発」福島麻衣、岡田弘ら、2017.7.7@名古屋
- 213) 第35回日本受精着床学会「思春期前男児に対する妊孕性温存のアプローチとしての精巣組織凍結保存」慎武、岡田弘ら、2017.7.20@米子
- 214) 第24回関東アンドロロジーカンファレンス「若年性がん患者の治療前精子凍結保存全国調査結果報告」湯村寧、岡田弘ら、2017.9.9@東京
- 215) 第62回日本生殖医学会「少数精子凍結におけるアガロースカプセルの有用性の検討」久保田麻衣、岡田弘ら、2017.11.17@下関
- 216) 第8回日本がん・生殖医療学会「男性がん患者に対する妊孕性温存療法の最新トピックス」岡田弘、2018.2.11@東京
- 217) 第106回日本泌尿器科学会総会「妊孕性温存を目的としたONCO-TESEの実際」寺井一隆、岡田弘ら、2018.4.19@京都
- 218) 第106回日本泌尿器科学会総会「精子運動率、精子生存率、精子酸化還元電位を保つ上で37度より25度条件下で優れている」鈴木啓介、岡田弘ら、2018.4.21@京都
- 219) 第36回日本受精着床学会総会「生殖医療における「精子学」」岡田弘、2018.7.26@千葉
- 220) アジアにおけるがん生殖医療(国際シンポジウム)「がん患者の妊孕性温存のための精子。精巣凍結」岡田弘、2018.12.22@東京
- 221) 岩端秀之、岩端由里子、鈴木直. 抗がん薬の性腺毒性に対する甲状腺ホルモンによる卵巣保護に関する研究、第71回日本産科婦人科学会学術集会、2019年4月.
- 222) 川原泰、上川篤志、杉下陽堂、高江正道、洞下由記、鈴木直. 異種移植モデルを用いた卵巣刺激時のAromatase Inhibitor 併用と子宮内膜癌細胞の増殖に関する検討 より安全な妊孕性温存療法の開発、第71回日本産科婦人科学会学術集会、2019年4月.
- 223) Yoshioka N, Suzuki N, Nakamura T, Endo H, Yamanaka H, Ohara T, Tozawa A, Hasegawa J, Harada M, Osuga Y. Survey on Cancer and Reproductive Medicine for Germ Cell Tumors in Japan, 第71回日本産科婦人科学会学術集会、2019年4月.
- 224) Iwahata Y, Takae S, Uwajima K, Shiraishi E, Suzuki Y, Iwahata H, Sawada S, Sugishita Y, Horage Y, Suzuki N. Progression of informed assent for child cancer patients received ovarian tissue cryopreservation, 第71回日本産科婦人科学会学術集会、2019年4月.
- 225) 白石絵莉子、高江正道、上嶋佳織、鈴木由妃、澤田紫乃、杉下陽堂、洞下由記、岡本愛光、鈴木直. 小児の卵巣予備能評価法として抗ミューラー管ホルモン(AMH)測定は有用か?、第71回



- 日本産科婦人科学会学術集会, 2019年4月.
- 226) 鈴木由妃, 小泉智恵, 杉下陽堂, 高江正道, 洞下由記, 川井清考, 杉本公平, 高井泰, 古井辰郎, 鈴木直. 乳がん女性とその夫の妊孕性温存に関する心理教育プログラム (O!PEACE) の効果評価: 他施設合同によるランダム化比較試験, 第71回日本産科婦人科学会学術集会, 2019年4月.
- 227) Suzuki N. Laparoscopic approach to ovarian tissue collection and re-transplantation. What are the indications and risks?, SASREG-ISGE and ESGE Conference 2019, 2019年4月.
- 228) 鈴木直. 本邦におけるがん・生殖医療の現状と課題, 第107回日本泌尿器科学会総会, 2019年4月.
- 229) Suzuki N. Current Topics on Fertility Preservation for the CAYA Cancer Patients in Asisa, The 9th Congress of the Asia Pacific Initiative on Reproduction, 2019年5月.
- 230) 鈴木直. 小児・思春期世代がん患者に対する妊孕性温存療法～現状と課題について, 第51回福島造血幹細胞移植治療研究会, 2019年5月.
- 231) Suzuki N. Current Status of fertility preservation for CAYA cancer Patients in the world and Asia, the Sixth Session of China-USA High Level Forum on Reproductive Medicine, 2019年5月.
- 232) 杉下陽堂, 鈴木直. Recent Advances of Ovarian Tissue Cryopreservation and Transplantation, The 2nd ASFP conference, 2019年6月.
- 233) 鈴木直. 血液がん患者における妊孕性温存, Novartis Hematology Web Seminar, 2019年6月.
- 234) 鈴木直. 小児・思春期・若年 (AYA) 世代がん患者に対する光干渉遮断法を用いたより効率の良い卵巣組織凍結・移植法の開発, 医工連携シンポジウム, 2019年6月.
- 235) 鈴木直. がん・生殖医療の現状と今後の展開, 第57回香川婦人科腫瘍研究会, 2019年6月.
- 236) Nakamura K, Takae S, Uwajima K, Shiraishi E, Suzuki Y, Sawada S, Iwahata H, Sugishita Y, Horage Y, Suzuki N. The 9 years-experience of fertility preservation for breast cancer patients at advanced fertility preservation center in Japan, ESHRE 2019, 2019年6月.
- 237) 鈴木直. がん・生殖医療の現状と課題, がんと生殖医療 講演会, 2019年7月.
- 238) 鈴木直. 若年乳癌患者に対する妊孕性温存療法に関する最新情報 - がん・生殖医療の課題 -, 第27回日本乳癌学会学術総会, 2019年7月.
- 239) Suzuki N. Recent Advances on Fertility Preservation for the CAYA Cancer Patients in Japan, The 11th Korea-Japan ART Conference, 2019年7月.
- 240) Sugishita Y, Suzuki Y, Nishimura S, Meng L, Uekawa A, Tozawa A, Edashige K, Suzuki N. The Quantification of Residual Cryoprotectants in the Thawed Ovarian Tissue for Ovarian Tissue Transplantation, CRYO2019, 2019年7月.
- 241) Meng L, Sugishita Y, Suzuki Y, Ni

- shimura S, Uekawa A, Tozawa A, Suzuki N. Resumption of Hormonal Cycle after Heterotopic Transplantation of Ovarian Tissue cryopreserved by Closed Vitrification Protocol , CRYO2019, 2019年7月.
- 242) Suzuki Y, Sugishita Y, Meng L, Shimura S, Tozawa A, Suzuki N. Mitochondrial Function Evaluation of Immature and Mature Oocytes Follows Vitrification and Thawing , CRYO2019, 2019年8月.
- 243) 高江正道, 鈴木直. 小児・思春期がん患者に対する卵巣組織凍結保存の実際と課題, 第37回日本受精着床学会総会・学術講演会, 2019年8月.
- 244) 岩端秀之, 洞下由記, 阿部恭子, 鈴木由妃, 澤田紫乃, 白石絵莉子, 杉下陽堂, 高江正道, 鈴木直. がん・生殖医療における妊孕性温存療法の現状と課題, 第37回日本受精着床学会総会・学術講演会, 2019年8月.
- 245) 鈴木直. がん・生殖医療の現在の課題 - さらなる啓発に向けて -, 第2回三重がん・生殖医療セミナー, 2019年8月.
- 246) Suzuki N. Oncology Fertility, PCI OC2019, 2019年8月.
- 247) Suzuki N. recent Advances of Fertility Preservation for the CAYA Cancer Patients in Japan, International Conference on Human Fertility Preservation and Advanced Reproductive Medicine, 2019年8月.
- 248) Suzuki N. Recent advances on Fertility Preservation for the CAYA Cancer Patients Ovarian Tissue Cryopreservation and Ovarian Tissue Transplantation, 2019 Annual Congress of Reproduction Medicine in Shaanxi Province, 2019年8月.
- 249) 鈴木直. がん・生殖医療における周産期医療の重要性, 第42回日本母体胎児医学会学術集会, 2019年8月.
- 250) 鈴木直. 思春期世代がん患者に対する卵巣組織凍結・移植に関する最新トピックス - 将来の選択肢を残す妊孕性温存療法, 第38回日本思春期学会総会・学術集会, 2019年8月.
- 251) 鈴木直. 本邦におけるがん・生殖医療の現状と課題 - 婦人科腫瘍医として、また産婦人科医としての役割, 第16回日本婦人科がん会議, 2019年8月.
- 252) 鈴木直. 小児・AYA世代がん患者に対する妊孕性温存の診療 - 最新情報, 第12回北九州がん化学療法チーム医療研究会, 2019年9月.
- 253) 鈴木直. 小児・AYA世代血液疾患患者に対するがん・生殖医療の現状と課題, 第80回神奈川血液研究会, 2019年9月.
- 254) 鈴木直. 小児・AYA世代がん患者に対するがん・生殖医療の現状とその課題, 第12回埼玉婦人科がん支持療法懇話会, 2019年9月.
- 255) Suzuki N. States of Global fertility Preservation, Inaugural Meeting of the Philippine Society for Fertility Preservation, 2019年9月.
- 256) Suzuki N. Fertility Preservation in Women with Gynecologic Cancer, Inaugural Meeting of the Philippine Society for Fertility Preservation, 2019年9月.
- 257) Suzuki N. The importance of a Multidisciplinary Approach in Fertility Preservation, Inaugural Meeting of Reproduction Medicine in Shaanxi Province, 2019年8月.

- ng of the Philippine Society for Fertility Preservation, 2019 年 9 月.
- 258) Suzuki N. Status of Global Fertility Preservation, 35th Annual Convention of Philippine Society of Oncologist, Inc, 2019 年 9 月.
- 259) Suzuki N. Update of ovarian tissue freezing and transplantation in the worldwide and Asia, The 4th Shanghai Forum for Fertility Preservation and Symposium and Workshop of ASFP, 2019 年 9 月.
- 260) 鈴木直. 小児・AYA 世代がん患者のサブオーダーシップ向上を志向したがん・生殖医療, 浜松がんシンポジウム 医療者が知っておきたいがん診療最前線, 2019 年 10 月.
- 261) 鈴木直. がん・生殖医療の今後の展望, 第 22 回日本 IVF 学会学術集会, 2019 年 10 月.
- 262) 鈴木直. 最適ながん・生殖医療の実践を目指して, 第 57 回日本癌治療学会学術集会, 2019 年 10 月.
- 263) 鈴木直. 特別講演 2 血液がん患者に対する妊孕性温存診療, Novartis Hematology Web Seminar 血液がんと妊孕性温存, 2019 年 10 月.
- 264) 鈴木直. がん治療の実際と生殖機能への影響 婦人科がん, 日本生殖心理学会 認定資格講座, 2019 年 10 月.
- 265) Miyoshi Y, Higuchi A, Suzuki T, Isoyama K, Kawai Y, Tatara R, Tokunaga E, Ishida Y, Iguchi M, Suzuki N, Kiyotani C, Ozawa M, Yamamoto K, Ishida Y, Horibe K, Shimizu C. AYA 世代がん患者の長期フォローアップに関する多施設パイロット研究 A multi-center questionnaire survey regarding acceptance of long-term follow-up in AYA cancer patients, 第 61 回 日本小児血液・がん学会学術集会, 2019 年 11 月.
- 266) Sudo A, Takae S, Oyama R, Keino D, Umezawa Y, Mori M, Ashikaga T, Yamashita A, Nagae C, Taki M, Kinoshita A, Suzuki N, Mori T. 小児がん・造血細胞移植患者の妊孕性温存を目的とした卵巣組織凍結保存後のフォローアップ Follow-up after ovarian tissue cryopreservation to preserve fertility in children with cancer or hematopoietic stem cell transplantation, 第 61 回 日本小児血液・がん学会学術集会, 2019 年 11 月.
- 267) 鈴木直. 家族をつくること 女性の妊孕性、男性の妊孕性, AYA がんの医療と支援のあり方研究会主催研修会, 2019 年 11 月.
- 268) 鈴木直. 地域におけるがん・生殖医療の現状と課題, 栃木県がん・生殖医療ネットワーク設立記念講演会・シンポジウム, 2019 年 12 月.
- 269) Saito K, Motani Y, Takae S, Suzuki N, Tsukada K. Automatic follicle cells detection in ovarian tissue visualized by optical coherence tomography using convolutional neural network, Industry-UCB-UEC-Keio Workshop 2019, 2019 年 12 月.
- 270) 中村健太郎, 高江正道, 白石絵莉子, 鈴木由妃, 岩端秀之, 澤田紫乃, 杉下陽堂, 洞下由記, 鈴木直. 当院における子宮内膜異型増殖症及び子宮体癌に対する高用量黄体ホルモン療法に関する妊孕性温存の検討, 第 8 回婦人科がんバイオマーカー研究会

- 学術集会, 2020年2月.
- 271) 鈴木直. 厚生労働科学研究共催・Oncofertility Consortium Japan Meeting 総評と今後の展望, 第10回日本がん・生殖医療学会学術集会, 2020年2月.
- 272) 鈴木直. 我が国におけるがん・生殖医療の実情と課題, 第10回日本がん・生殖医療学会学術集会, 2020年2月.
- 273) 鈴木直. 本邦におけるがん・生殖医療の課題 - 全国への均てん化を目指して, 第4回茨城県がん生殖医療ネットワークシンポジウム, 2020年2月.
- 274) 鈴木直. 本邦におけるがん・生殖医療の実情と課題 - 小児・AYA世代がん患者のサバイバーシップ向上を目指して, 和歌山県主催 がん妊孕性(生殖機能)温存治療 研修会, 2020年2月.
- 275) 鈴木直. 小児・AYA世代にがん患者に対するがん・生殖医療の実際と課題 - 医療連携ネットワーク構築に向けて, 新春特別・高知県がん生殖医療セミナー, 2020年1月.
- 276) 鈴木直. 教育セミナー2 がん・生殖医療最新情報, 第17回日本生殖心理学会・学術集会, 2020年2月.
- 277) 中嶋真理子, 洞下由記, 小泉智恵, 鈴木由妃, 杉下陽堂, 高江正道, 鈴木直. ポスター 不妊治療終結時の発現からみた心理支援の必要性の検討, 第17回日本生殖心理学会・学術集会, 2020年2月.
- 278) 小泉智恵, 中山美由紀, 鈴木直, 杉本公平, 岡田弘. 生殖医療及び妊孕性温存におけるサイコソーシャルケア・システムの国際比較, 第17回日本生殖心理学会・学術集会, 2020年2月.
- 279) 山谷佳子, 小林千夏, 小泉智恵, 吹谷和代, 洞下由記, 白石絵莉子, 鈴木直. 小児・AYA世代がんサバイバーにおける妊孕性に関する心理社会的ケア: システムティックレビュー(第1報), 第17回日本生殖心理学会・学術集会, 2020年2月.
- 280) 小泉智恵: がん領域と生殖領域の診療連携における両領域の臨床心理士の役割に関する基礎的研究: 第2報. 日本心理臨床学会第38回大会, パシフィコ横浜・神奈川県, 2019, 6.
- 281) 渡邊裕美, 塚野佳世子, 奈良和子, 小林真理子, 小泉智恵: がん患者の妊娠、出産、育児に寄り添う心理支援. 日本心理臨床学会第38回大会, パシフィコ横浜・神奈川県, 2019, 6.
- 282) 小泉智恵: AYAがん患者と家族における妊孕性温存に関する心理的側面. 日本癌治療学会第57回学術集会, 福岡国際会議場・福岡県, 2019, 10.
- 283) 小泉智恵, 吹谷和代, 山谷佳子, 小林千夏, 洞下由記, 白石絵莉子, 鈴木由妃, 高江正道, 杉下陽堂, 杉本公平, 小橋元, 岡田弘, 鈴木直: がん診断時期のCAYA世代がん患者とその家族が妊孕性温存を検討するための心理社会的ケア: システムティックレビュー(第1報). 第10回日本がん・生殖医療学会学術集会, 大宮ソニックシティ・埼玉県, 2020, 2.
- 284) 山谷佳子, 小林千夏, 小泉智恵, 吹谷和代, 洞下由記, 白石絵莉子, 鈴木直: CAYA世代がんサバイバーにおける妊孕性に関する心理社会的ケア: システムティックレビュー(第1

報)。第 17 回日本生殖心理学会学術  
集会，城山ホテル鹿児島・鹿児島県，  
2020，2.

G．知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1．特許取得

なし

2．実用新案

なし

3．その他

なし